

第2回中高年者縦断調査 (中高年者の生活に関する継続調査) 結果の概況

目次

調査の概要	1 頁
結果の概要	
I 家族の状況	3
配偶者及び同居者の状況の変化	3
II 健康の状況	4
1 健康状態の変化	4
(1) 健康状態の変化	4
(2) 日頃健康維持のために心がけていることと健康状態の変化	5
2 医師から診断されている6つの疾病の有無の変化	6
(1) 医師から診断されている6つの疾病の有無の変化	6
(2) 医師から診断されている6つの疾病の有無と喫煙習慣の変化	7
(3) 医師から診断されている6つの疾病の有無と運動習慣の変化	8
3 過去1か月間に感じたことの状況の変化	9
(1) 健康状態の変化と過去1か月間に感じたことの状況の変化	9
(2) 就業状況の変化と過去1か月間に感じたことの状況の変化	10
4 日常生活活動の困難の有無の変化	11
III 就業の状況	12
1 就業状況の変化	12
(1) 就業状況の変化	12
(2) 就業状況の変化と1か月間の収入額の増減	13
2 離職者の離職前後の状況の変化	14
(1) 健康状態の変化	14
(2) 住居の状況の変化	15
3 再就職の状況	16
(1) 年齢別にみた状況	16
(2) 離職理由別にみた状況	17
(3) 第1回の仕事のための免許・資格の取得の有無別にみた状況	18
(4) 第1回の仕事のための能力開発・自己啓発の状況別にみた状況	19
4 第1回に仕事をしていなかった女性の就業の状況	20
(1) 第1回の就業希望の有無、求職活動の有無別にみた状況	20
(2) 第1回の仕事のための免許・資格の取得の有無別にみた状況	21
(3) 第1回の仕事のための能力開発・自己啓発の状況別にみた状況	22
統計表	23
参考	25
用語の定義	26

第2回中高年者縦断調査の結果は、厚生労働省のホームページにも掲載されています。

7 結果の集計及び集計客体

集計は、厚生労働省大臣官房統計情報部で行った。

調査客体数、回収客体数は以下のとおりである。

	調査客体数	回収客体数	回収率
第1回	40,877	34,240	83.8%
第2回	35,007	32,285	92.2%

なお、本概況における集計客体数は31,403であり、第1回調査、第2回調査ともに集計可能である客体である。

8 利用上の注意

(1) 表章記号の規約

計数のない場合	—
比率が微小(0.05未満)の場合	0.0

(2) この概況に掲載の数値は四捨五入してあるので、内訳の合計が「総数」に合わない場合がある。

(3) この概況の掲載の数値には、統計数が僅少のため利用する際に注意が必要なものが含まれる。

結果の概要

I 家族の状況

配偶者及び同居者の状況の変化

「夫婦のみの世帯」は、第1回 20.2%から第2回 23.1%へと増加した。

第1回の配偶者の有無、同居者の構成別に、第2回の配偶者の有無、同居者の構成をみると、第1回「配偶者あり」の1.0%が「配偶者なし」となり、第1回「配偶者なし」の4.9%が「配偶者あり」となった。

また、「配偶者あり」の「夫婦のみの世帯」は、第1回では20.2%、第2回では23.1%となっており、「配偶者なし」の「単独世帯」は第1回では4.9%、第2回では5.7%となっている。(表1、統計表1)

表1 第1回の配偶者の有無、同居者の構成別にみた
第2回の配偶者の有無、同居者の構成

(単位：%)

	総数	第2回の配偶者の有無、同居者の構成														
		配偶者あり							配偶者なし							
		単独世帯 (配偶者と別居)	夫婦のみの世帯	三世代世帯	親あり子なしの世帯	親なし子ありの世帯	その他の世帯	単独世帯	三世代世帯	親あり子なしの世帯	親なし子ありの世帯	その他の世帯				
総数	(100.0)	100.0	85.7	1.0	23.1	15.5	6.8	36.3	0.4	14.2	5.7	0.9	3.3	3.0	0.6	
第1回の配偶者の有無、同居者の構成	配偶者あり	(86.0)	100.0	98.9	1.1	26.7	18.0	7.9	42.1	0.4	1.0	0.5	0.1	0.1	0.3	0.0
	単独世帯 (配偶者と別居)	(0.9)	100.0	87.8	47.9	15.4	1.4	1.4	16.8	0.7	11.9	10.5	-	-	0.3	0.3
	夫婦のみの世帯	(20.2)	100.0	98.7	0.8	84.0	0.7	1.6	8.4	0.3	1.2	0.8	0.0	0.0	0.2	0.1
	三世代世帯	(17.5)	100.0	99.5	0.2	3.1	79.5	7.2	7.4	0.0	0.5	0.0	0.2	0.1	0.1	-
	親あり子なしの世帯	(6.7)	100.0	98.7	0.6	9.1	10.4	74.3	1.6	0.7	1.2	0.3	0.1	0.8	-	-
	親なし子ありの世帯	(39.4)	100.0	99.2	0.5	10.8	1.5	0.3	83.0	0.3	0.8	0.2	-	-	0.5	-
	その他の世帯	(0.3)	100.0	95.9	-	24.7	3.1	5.2	14.4	45.4	4.1	2.1	-	-	-	-
	配偶者なし	(13.9)	100.0	4.9	0.6	1.3	0.4	0.7	0.8	0.2	95.1	37.9	6.2	22.7	20.1	4.3
	単独世帯	(4.9)	100.0	3.7	1.0	1.2	0.1	0.4	0.1	0.2	96.3	85.7	0.3	2.2	3.2	1.4
	三世代世帯	(1.0)	100.0	5.9	-	0.6	3.4	0.6	-	-	94.1	5.3	72.9	6.5	6.5	-
	親あり子なしの世帯	(3.6)	100.0	4.1	0.1	1.0	0.1	1.8	0.2	0.1	95.9	8.4	1.4	80.2	0.3	1.8
	親なし子ありの世帯	(3.3)	100.0	6.2	0.4	1.7	0.2	0.1	2.4	-	93.8	12.3	1.5	0.1	76.5	0.3
	その他の世帯	(0.6)	100.0	9.5	1.0	2.5	-	-	1.5	3.0	90.5	11.5	0.5	3.0	1.5	69.0

注：総数には、配偶者の有無不詳を含む。また、「配偶者あり」「配偶者なし」には、同居者の構成不詳を含む。

II 健康の状況

1 健康状態の変化

(1) 健康状態の変化

健康状態が「よい」であった者のうち「わるい」になった者の割合は9.3%、「わるい」であった者のうち「よい」になった者の割合は39.0%となっている。

健康状態が「よい」であった者の割合は、第1回では81.0%、第2回では80.5%、「わるい」であった者の割合は、第1回では18.2%、第2回では18.6%となっており、ほぼ変わっていないが、第1回の健康状態別に第2回の健康状態をみると、第1回に「よい」であった者のうち第2回で「わるい」になった者の割合は、9.3%、第1回に「わるい」であった者のうち第2回で「よい」になった者の割合は、39.0%となっている。

また、6段階の健康状態別にみると、第1回と第2回の健康状態が同じである者の割合は、「どちらかといえば良い」が57.8%と最も高く、次いで「良い」の52.8%、「どちらかといえば悪い」の45.1%となっている。(表2)

表2 性、第1回の健康状態別にみた第2回の健康状態

		第2回の健康状態 (単位：%)										
		総数	よい				わるい				不詳	
			大変良い	良い	どちらか といえば 良い	どちらか といえば 悪い	悪い	大変悪い				
第1回の健康状態	総数	(100.0)	100.0	80.5	6.2	32.2	42.1	18.6	14.6	3.3	0.7	0.9
	よい	(81.0)	100.0	89.9	7.4	37.7	44.9	9.3	8.1	1.0	0.2	0.7
	大変良い	(7.9)	100.0	97.0	38.9	40.6	17.5	2.6	2.1	0.5	0.1	0.4
	良い	(31.2)	100.0	93.5	6.2	52.8	34.4	6.0	5.1	0.7	0.1	0.6
	どちらか といえば良い	(42.0)	100.0	86.0	2.4	25.9	57.8	13.0	11.5	1.2	0.3	0.9
	わるい	(18.2)	100.0	39.0	0.7	8.3	30.0	59.5	43.2	13.3	3.0	1.5
	どちらか といえば悪い	(13.8)	100.0	44.5	0.7	9.0	34.8	54.0	45.1	8.0	0.8	1.5
	悪い	(3.5)	100.0	23.4	0.6	6.3	16.5	75.1	39.2	29.1	6.8	1.5
	大変悪い	(0.9)	100.0	14.0	1.4	4.7	7.9	85.3	28.8	33.8	22.7	0.7
	男	(100.0)	100.0	79.6	6.4	32.4	40.8	19.6	15.3	3.4	0.8	0.8
	よい	(80.4)	100.0	89.5	7.6	38.1	43.8	9.8	8.6	0.9	0.3	0.7
	大変良い	(8.2)	100.0	97.0	39.4	38.9	18.8	2.6	2.2	0.4	-	0.3
	良い	(31.6)	100.0	93.3	6.0	53.2	34.0	6.2	5.4	0.6	0.2	0.5
どちらか といえば良い	(40.6)	100.0	85.0	2.5	26.2	56.4	14.1	12.4	1.3	0.4	0.9	
わるい	(18.9)	100.0	38.0	0.9	8.9	28.3	60.5	43.7	13.5	3.2	1.5	
どちらか といえば悪い	(14.4)	100.0	43.2	0.7	9.7	32.7	55.2	46.1	8.0	1.0	1.6	
悪い	(3.5)	100.0	23.4	1.1	6.7	15.5	75.1	38.5	30.5	6.2	1.5	
大変悪い	(1.0)	100.0	15.1	2.0	3.9	9.2	84.9	27.0	32.9	25.0	-	
女	(100.0)	100.0	81.4	6.0	32.0	43.4	17.7	14.0	3.1	0.6	0.9	
よい	(81.6)	100.0	90.4	7.2	37.3	45.9	8.8	7.7	1.0	0.2	0.8	
大変良い	(7.6)	100.0	97.0	38.5	42.3	16.3	2.6	1.9	0.6	0.2	0.4	
良い	(30.9)	100.0	93.6	6.3	52.4	34.9	5.8	4.8	0.9	0.1	0.6	
どちらか といえば良い	(43.2)	100.0	86.9	2.3	25.6	59.0	12.1	10.8	1.1	0.2	1.0	
わるい	(17.5)	100.0	40.1	0.6	7.7	31.8	58.6	42.7	13.0	2.8	1.4	
どちらか といえば悪い	(13.4)	100.0	45.9	0.6	8.3	36.9	52.8	44.1	8.0	0.6	1.3	
悪い	(3.4)	100.0	23.4	0.2	5.8	17.4	75.1	39.9	27.8	7.4	1.5	
大変悪い	(0.8)	100.0	12.7	0.8	5.6	6.3	85.7	31.0	34.9	19.8	1.6	

注：第1回の健康状態の総数、男、女には、健康状態不詳を含む。

(2) 日頃健康維持のために心がけていることと健康状態の変化

第1回から継続して健康維持のために心がけていることがある者は、心がけていることは特にない者より、「良くなった・変わらない(よい)」の割合が高くなっている。

第1回から継続して健康維持のために心がけていたことの内容別に、第1回から第2回にかけての健康状態の変化をみると、「良くなった・変わらない(よい)」の割合は、「ストレスをためない」の69.8%が最も高く、次いで、「適度な運動をする」、「年に1回以上人間ドックを受診する」及び「適正体重を維持する」の69.4%等となっている。

また、第1回、第2回とも「心がけていることは特にない」であった者は、「良くなった・変わらない(よい)」の割合が64.3%と、第1回から継続して心がけていることがある者よりも低くなっている。(表3)

表3 第1回から継続して健康維持のために心がけていること(複数回答)別にみた第1回から第2回にかけての健康状態の変化

		(単位: %)								
	総数	良くなった・変わらない(よい)			悪くなった・変わらない(わるい)			不詳		
		良くなった	変わらない(よい)		変わらない(わるい)	悪くなった				
第1回から健康維持継続のために心がけていること(複数回答)	総数	(100.0)	100.0	66.6	22.8	43.8	31.8	7.5	24.3	1.6
	お酒を飲み過ぎない	(12.5)	100.0	68.0	23.0	45.0	30.4	6.6	23.8	1.5
	たばこを吸いすぎない	(7.3)	100.0	67.2	24.7	42.5	31.5	8.3	23.2	1.3
	適度な運動をする	(27.8)	100.0	69.4	22.8	46.6	29.4	5.6	23.9	1.2
	年に1回以上人間ドックを受診する	(10.7)	100.0	69.4	21.4	47.9	29.6	4.3	25.3	1.0
	食事の量に注意する	(29.4)	100.0	67.7	22.9	44.9	30.8	7.6	23.2	1.5
	バランスを考え多様な食品を取る	(26.6)	100.0	69.2	22.6	46.5	29.4	5.7	23.6	1.4
	錠剤、カプセル、顆粒、ドリンク状のビタミンやミネラルを摂取する	(12.6)	100.0	65.8	22.9	42.9	32.9	8.1	24.7	1.3
	適正体重を維持する	(25.0)	100.0	69.4	22.8	46.6	29.3	5.6	23.7	1.3
	食後の歯磨きをする	(23.5)	100.0	69.3	22.6	46.6	29.4	6.2	23.2	1.3
	適度な休養を取る	(21.7)	100.0	68.8	22.9	45.9	30.0	6.3	23.7	1.2
	ストレスをためない	(28.3)	100.0	69.8	22.6	47.2	29.1	5.5	23.6	1.1
	その他	(0.3)	100.0	64.8	24.8	40.0	35.2	10.5	24.8	-
第1回、第2回とも心がけていることは特にない	(4.1)	100.0	64.3	22.0	42.3	34.5	9.4	25.1	1.2	

注: 集計対象は以下の①または②に該当する者である。

- ① 「日頃健康維持のために心がけていること」について、第1回、第2回とも同じ内容を選択した者。
- ② 「日頃健康維持のために心がけていること」について、第1回、第2回とも「特にない」とした者。

2 医師から診断されている6つの疾病の有無の変化

(1) 医師から診断されている6つの疾病の有無の変化

「なし」であった者のうち「あり」になった者の割合は、5疾病において男の方が女より高くなっている。

性、第1回の医師から診断されている6つの疾病の有無別に、第2回の医師から診断されている6つの疾病の有無をみると、第1回に「なし」であった者のうち第2回で「あり」になった者の割合は、「悪性新生物」を除く5疾病で、男の方が高くなっている。「高血圧」で男6.9%、女3.8%と、差が最も大きくなっており、次いで差が大きいのは、「糖尿病」で男2.8%、女1.4%となっている。(表4)

表4 性、第1回の医師から診断されている6つの疾病の有無別にみた
第2回の医師から診断されている6つの疾病の有無

(単位：%)

		第2回の医師から診断されている6つの疾病の有無														
		総数			男			女								
		あり	なし	不詳	あり	なし	不詳	あり	なし	不詳	あり	なし	不詳			
第1回の医師から診断されている6つの疾病の有無	糖尿病	(100.0)	100.0	7.7	70.6	21.7	(100.0)	100.0	10.3	70.7	19.0	(100.0)	100.0	5.2	70.6	24.2
	あり	(6.9)	100.0	83.4	12.3	4.3	(9.3)	100.0	83.4	12.8	3.7	(4.7)	100.0	83.3	11.4	5.3
	なし	(93.1)	100.0	2.1	74.9	23.0	(90.7)	100.0	2.8	76.6	20.5	(95.3)	100.0	1.4	73.5	25.2
	心臓病	(100.0)	100.0	3.0	75.1	21.8	(100.0)	100.0	4.1	76.7	19.2	(100.0)	100.0	2.0	73.7	24.3
	あり	(2.7)	100.0	72.4	22.8	4.8	(3.6)	100.0	73.8	22.2	4.0	(1.7)	100.0	69.6	23.9	6.4
	なし	(97.3)	100.0	1.2	76.6	22.3	(96.4)	100.0	1.5	78.8	19.7	(98.3)	100.0	0.8	74.6	24.6
	脳卒中	(100.0)	100.0	1.3	76.8	21.9	(100.0)	100.0	1.8	79.0	19.2	(100.0)	100.0	1.0	74.7	24.3
	あり	(1.2)	100.0	69.4	24.7	5.9	(1.6)	100.0	73.3	23.0	3.7	(0.9)	100.0	63.0	27.4	9.6
	なし	(98.8)	100.0	0.5	77.4	22.1	(98.4)	100.0	0.6	79.9	19.5	(99.1)	100.0	0.4	75.1	24.5
	高血圧	(100.0)	100.0	19.2	59.3	21.4	(100.0)	100.0	21.8	59.4	18.8	(100.0)	100.0	16.8	59.3	24.0
	あり	(17.1)	100.0	86.5	9.7	3.8	(18.8)	100.0	85.9	10.8	3.3	(15.5)	100.0	87.3	8.4	4.4
	なし	(82.9)	100.0	5.3	69.6	25.1	(81.2)	100.0	6.9	70.7	22.4	(84.5)	100.0	3.8	68.6	27.6
	高脂血症	(100.0)	100.0	10.9	67.5	21.6	(100.0)	100.0	11.2	69.9	18.9	(100.0)	100.0	10.7	65.2	24.1
	あり	(8.7)	100.0	68.6	24.1	7.2	(8.8)	100.0	66.8	27.3	5.9	(8.5)	100.0	70.4	21.0	8.6
	なし	(91.3)	100.0	5.5	71.6	22.9	(91.2)	100.0	5.9	74.0	20.2	(91.5)	100.0	5.1	69.3	25.5
	悪性新生物	(100.0)	100.0	1.5	76.5	22.0	(100.0)	100.0	1.3	79.4	19.3	(100.0)	100.0	1.7	73.9	24.4
	あり	(1.7)	100.0	53.6	35.8	10.5	(1.3)	100.0	50.0	39.4	10.6	(2.0)	100.0	55.9	33.6	10.5
	なし	(98.3)	100.0	0.6	77.2	22.1	(98.7)	100.0	0.6	79.9	19.5	(98.0)	100.0	0.6	74.7	24.7

(2) 医師から診断されている6つの疾病の有無と喫煙習慣の変化

喫煙を「やめた」の割合は、6疾病において「なし」より「あり」の方が高い。

6つの疾病それぞれについて、第1回に医師から診断されている疾病がなかった者について、性、第2回の医師から新たに診断されている疾病の有無別に、第1回から第2回にかけての喫煙習慣の変化をみると、「やめた」の割合は、6疾病全てにおいて、「なし」より「あり」の方が高くなっており、「あり」の中で疾病別にみると、「脳卒中」が17.9%と最も高く、次いで「悪性新生物」の12.9%、「心臓病」の8.8%となっている。(表5、図1)

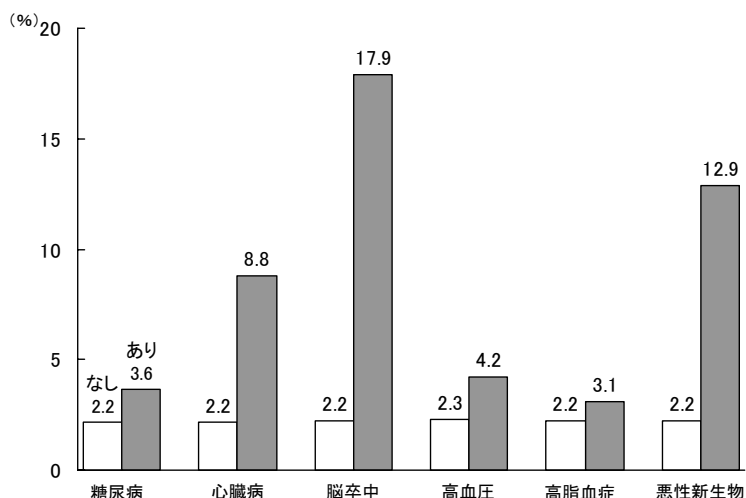
表5 性、第2回の医師から新たに診断されている6つの疾病の有無別にみた第1回から第2回にかけての喫煙習慣の変化

		糖尿病		心臓病		脳卒中		高血圧		高脂血症		悪性新生物	
		なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり
第1回から第2回にかけての喫煙習慣の変化	総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	第1回、第2回とも吸っている	26.1	33.8	26.9	25.5	26.8	19.2	27.2	28.5	27.5	24.6	27.0	18.6
	やめた	2.2	3.6	2.2	8.8	2.2	17.9	2.3	4.2	2.2	3.1	2.2	12.9
	第1回、第2回とも吸わない	69.5	58.4	68.8	61.8	68.8	60.3	68.4	63.4	68.1	69.6	68.6	67.5
	始めた	1.1	1.5	1.1	2.0	1.1	2.0	1.2	2.1	1.1	1.2	1.1	-
	男	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	第1回、第2回とも吸っている	43.8	46.3	44.6	35.1	44.2	23.6	45.7	39.1	44.9	39.6	44.2	31.9
	やめた	3.1	5.1	3.1	12.6	3.1	27.0	3.2	5.3	3.1	4.7	3.1	22.3
	第1回、第2回とも吸わない	51.2	46.0	50.5	48.6	50.8	47.2	49.1	51.6	50.1	53.0	50.7	45.7
	始めた	1.3	1.5	1.2	2.3	1.3	2.2	1.4	2.8	1.3	1.8	1.3	-
	女	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	第1回、第2回とも吸っている	10.2	11.2	10.3	9.2	10.3	12.9	10.3	11.1	10.8	8.3	10.3	6.0
	やめた	1.4	0.9	1.4	2.3	1.4	4.8	1.5	2.5	1.4	1.5	1.3	4.0
	第1回、第2回とも吸わない	86.1	80.9	86.0	84.0	86.0	79.0	86.0	82.8	85.4	87.5	85.9	88.0
	始めた	1.0	1.4	0.9	1.5	0.9	1.6	0.9	1.0	1.0	0.5	1.0	-

注：1)集計対象は、以下のとおりである。

- ①「あり」は、それぞれの疾病について、医師から診断された疾病が、第1回はなかったが、第2回にあった者。
 - ②「なし」は、それぞれの疾病について、第1回に医師から診断された疾病がなく、第2回で当該疾病を含む6疾病において、新たに診断された疾病がなかった者。
- 2)総数、男、女には、第1回から第2回にかけての喫煙習慣の変化不詳を含む。

図1 第2回の医師から新たに診断されている6つの疾病の有無別にみた第1回から第2回にかけて喫煙を「やめた」の割合



注：集計対象は、以下のとおりである。

- ①「あり」は、それぞれの疾病について、医師から診断された疾病が、第1回はなかったが、第2回にあった者。
- ②「なし」は、それぞれの疾病について、第1回に医師から診断された疾病がなく、第2回で当該疾病を含む6疾病において、新たに診断された疾病がなかった者。

(3) 医師から診断されている6つの疾病の有無と運動習慣の変化

運動を「始めた」の割合は、6疾病において「なし」より「あり」の方が高い。

6つの疾病それぞれについて、第1回に医師から診断されている疾病がなかった者について、性、第2回の医師から新たに診断されている疾病の有無別に、第1回から第2回にかけての運動習慣の変化をみると、「始めた」の割合は、6疾病全てにおいて「あり」の方が「なし」より高くなっており、「あり」の中で疾病別にみると「脳卒中」が19.2%と最も高く、次いで「悪性新生物」の14.4%、「糖尿病」の14.0%となっている。(表6、図2)

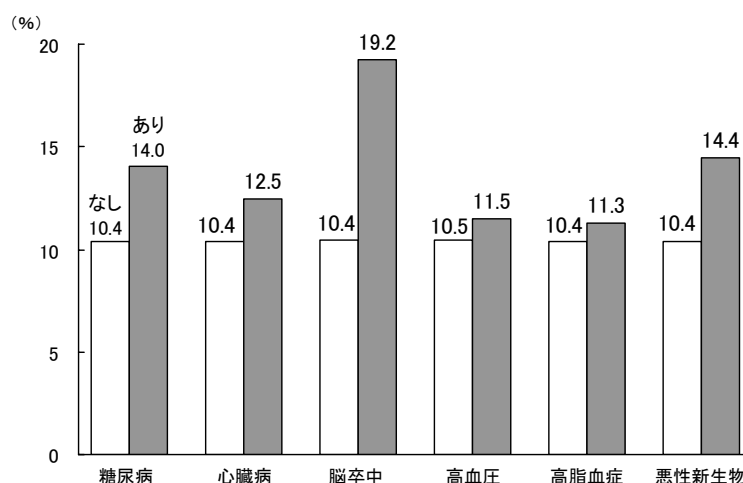
表6 性、第2回の医師から新たに診断されている6つの疾病の有無別にみた第1回から第2回にかけての運動習慣の変化

		糖尿病		心臓病		脳卒中		高血圧		高脂血症		悪性新生物	
		なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり
第1回から第2回にかけての運動習慣の変化	総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	第1回、第2回とも運動している	42.7	39.6	43.2	34.8	43.1	31.1	43.2	39.0	42.1	45.4	43.1	37.1
	やめた	9.3	5.8	9.3	9.9	9.3	9.9	9.1	10.1	9.4	9.0	9.3	14.4
	第1回、第2回とも運動していない	32.6	29.4	32.1	32.9	32.2	27.2	32.4	30.9	32.8	28.7	32.2	26.8
	始めた	10.4	14.0	10.4	12.5	10.4	19.2	10.5	11.5	10.4	11.3	10.4	14.4
	男	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	第1回、第2回とも運動している	38.4	36.6	39.0	33.3	38.8	34.8	38.7	36.1	38.1	39.1	39.0	36.2
	やめた	9.2	6.6	9.1	8.6	9.2	7.9	9.0	9.1	9.4	9.6	9.2	12.8
	第1回、第2回とも運動していない	37.6	32.7	37.0	35.6	37.0	23.6	37.3	36.1	37.4	35.5	36.9	25.5
	始めた	10.0	14.1	10.0	13.1	10.1	20.2	10.2	11.0	9.9	11.9	10.1	18.1
	女	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	第1回、第2回とも運動している	46.6	45.1	47.2	37.4	47.1	25.8	47.4	43.9	46.0	52.2	47.1	38.0
やめた	9.4	4.2	9.4	12.2	9.4	12.9	9.2	11.7	9.4	8.5	9.4	16.0	
第1回、第2回とも運動していない	28.1	23.3	27.5	28.2	27.6	32.3	27.9	22.4	28.4	21.4	27.6	28.0	
始めた	10.7	14.0	10.7	11.5	10.7	17.7	10.7	12.3	10.9	10.6	10.7	11.0	

注：1)集計対象は、以下のとおりである。

- ①「あり」は、それぞれの疾病について、医師から診断された疾病が、第1回はなく、第2回ではあった者。
 - ②「なし」は、それぞれの疾病について、第1回に医師から診断された疾病がなく、第2回で当該疾病を含む6疾病において、新たに診断された疾病がなかった者。
- 2)総数、男、女には、第1回から第2回にかけての運動習慣の変化不詳を含む。

図2 第2回の医師から新たに診断されている6つの疾病の有無別にみた第1回から第2回にかけて運動を「始めた」の割合



注：集計対象は、以下のとおりである。

- ①「あり」は、それぞれの疾病について、医師から診断された疾病が、第1回はなかったが、第2回にあった者。
- ②「なし」は、それぞれの疾病について、第1回に医師から診断された疾病がなく、第2回で当該疾病を含む6疾病において、新たに診断された疾病がなかった者。

3 過去1か月間に感じたことの状況の変化

(1) 健康状態の変化と過去1か月間に感じたことの状況の変化

過去1か月間に感じたことの状況の変化は、男女とも、健康状態が「良くなった」の場合に「増加」の割合が最も低くなっている。

性、第1回から第2回にかけての健康状態の変化別に、第1回から第2回にかけての過去1か月間に感じたことの状況の変化をみると、「増加」の割合は、男30.3%、女33.1%となっており、女の方が高い。

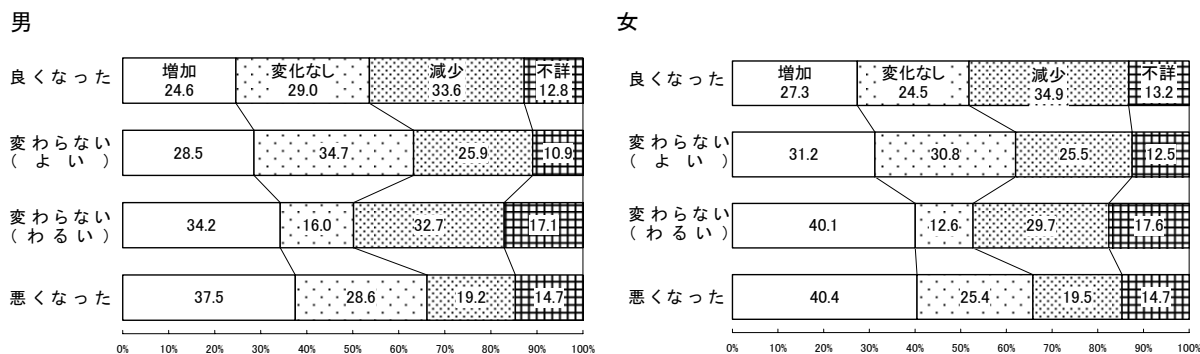
また、男女とも、「増加」の割合は、「悪くなった」で男37.5%、女40.4%と最も高く、次いで「変わらない(わるい)」、「変わらない(よい)」となっており、「良くなった」で男24.6%、女27.3%と最も低くなっている。(表7、図3)

表7 性、第1回から第2回にかけての健康状態の変化別にみた
第1回から第2回にかけての過去1か月間に感じたことの状況の変化

		第1回から第2回にかけての過去1か月間に感じたことの状況の変化 (単位: %)													
		総数	増加				変化なし	減少				不詳			
			19~24点	13~18点	7~12点	1~6点		1~6点	7~12点	13~18点	19~24点				
第1回から第2回にかけての健康状態の変化	総数	(100.0)	100.0	31.7	0.1	0.5	3.3	27.9	28.3	26.4	23.8	2.3	0.2	0.1	13.5
	良くなった	(22.8)	100.0	26.0	0.1	0.3	2.5	23.2	26.7	34.3	29.4	4.0	0.6	0.3	13.0
	変わらない(よい)	(43.8)	100.0	30.0	0.0	0.2	2.1	27.6	32.6	25.7	23.8	1.8	0.1	0.0	11.7
	変わらない(わるい)	(7.5)	100.0	37.0	0.2	0.9	5.2	30.7	14.4	31.3	27.0	3.7	0.5	0.1	17.3
	悪くなった	(24.3)	100.0	39.0	0.3	1.0	5.5	32.2	27.0	19.4	18.0	1.3	0.1	0.0	14.7
	男	(100.0)	100.0	30.3	0.1	0.5	3.3	26.4	30.2	26.4	23.4	2.6	0.2	0.1	13.1
	良くなった	(22.7)	100.0	24.6	0.1	0.4	2.4	21.7	29.0	33.6	28.3	4.3	0.6	0.5	12.8
	変わらない(よい)	(42.9)	100.0	28.5	0.0	0.2	2.1	26.2	34.7	25.9	23.9	1.9	0.1	0.0	10.9
	変わらない(わるい)	(7.9)	100.0	34.2	0.2	1.0	6.1	26.9	16.0	32.7	27.7	4.1	0.7	0.2	17.1
	悪くなった	(24.9)	100.0	37.5	0.2	1.0	5.4	31.0	28.6	19.2	17.5	1.6	0.1	-	14.7
	女	(100.0)	100.0	33.1	0.1	0.4	3.2	29.3	26.5	26.5	24.1	2.1	0.2	0.1	13.9
	良くなった	(22.9)	100.0	27.3	0.1	0.2	2.6	24.5	24.5	34.9	30.5	3.7	0.6	0.2	13.2
変わらない(よい)	(44.6)	100.0	31.2	0.0	0.2	2.1	28.9	30.8	25.5	23.7	1.7	0.1	0.0	12.5	
変わらない(わるい)	(7.0)	100.0	40.1	0.3	0.9	4.2	34.7	12.6	29.7	26.2	3.2	0.3	0.1	17.6	
悪くなった	(23.8)	100.0	40.4	0.4	1.0	5.6	33.5	25.4	19.5	18.5	1.0	0.0	0.0	14.7	

注: 1) 過去1か月間に感じたことの状況は、6項目(「神経過敏に感じましたか」「絶望的だと感じましたか」「そわそわ、落ち着かなく感じましたか」「気分が沈み込んで、何が起ころうとも気が晴れないように感じましたか」「何をすることも骨折れだと感じましたか」「自分は価値のない人間だと感じましたか」)について、それぞれ、「いつも」を5点、「たいてい」を4点、「ときどき」を3点、「少しだけ」を2点、「まったくない」を1点として、一人当たりの合計点を算出している。
2) 第1回から第2回にかけての過去1か月間に感じたことの状況の変化は、1)の合計点について、第1回と第2回を比較したものである。
3) 第1回から第2回にかけての健康状態の変化の総数、男、女には、健康状態の変化不詳を含む。

図3 性、第1回から第2回にかけての健康状態の変化別にみた
第1回から第2回にかけての過去1か月間に感じたことの状況の変化



注: 1) 過去1か月間に感じたことの状況は、6項目(「神経過敏に感じましたか」「絶望的だと感じましたか」「そわそわ、落ち着かなく感じましたか」「気分が沈み込んで、何が起ころうとも気が晴れないように感じましたか」「何をすることも骨折れだと感じましたか」「自分は価値のない人間だと感じましたか」)について、それぞれ、「いつも」を5点、「たいてい」を4点、「ときどき」を3点、「少しだけ」を2点、「まったくない」を1点として、一人当たりの合計点を算出している。
2) 第1回から第2回にかけての過去1か月間に感じたことの状況の変化は、1)の合計点について、第1回と第2回を比較したものである。

(2) 就業状況の変化と過去1か月間に感じたことの状況の変化

過去1か月間に感じたことの状況の変化は、男女とも、「離職」の場合に「増加」の割合が最も高くなっている。

性、第1回から第2回にかけての就業状況の変化別に、第1回から第2回にかけての過去1か月間に感じたことの状況の変化をみると、男は、「増加」の割合が、「離職」で31.2%と最も高く、「新規就業」で25.8%と最も低くなっている。

また、女は、「離職」で37.1%と最も高いが、その他の就業状況の変化の違いはあまりみられない。(表8)

表8 性、第1回から第2回にかけての就業状況の変化別にみた
第1回から第2回にかけての過去1か月間に感じたことの状況の変化

(単位：%)

		第1回から第2回にかけての過去1か月間に感じたことの状況の変化													
		総数	増加	19～24点	13～18点	7～12点	1～6点	変化なし	減少	1～6点	7～12点	13～18点	19～24点	不詳	
第1回から第2回にかけての就業状況の変化	総数	(100.0)	100.0	31.7	0.1	0.5	3.3	27.9	28.3	26.4	23.8	2.3	0.2	0.1	13.5
	同一就業継続	(72.3)	100.0	31.6	0.1	0.3	3.2	28.0	30.0	25.9	23.4	2.2	0.2	0.1	12.5
	転職	(3.7)	100.0	30.7	-	0.7	3.6	26.4	24.3	28.9	24.6	3.9	0.3	0.1	16.2
	新規就業	(3.0)	100.0	30.4	0.3	1.1	2.4	26.6	25.1	27.2	23.1	3.3	0.5	0.3	17.3
	離職	(4.3)	100.0	34.7	0.1	1.4	5.2	28.0	22.4	26.3	22.4	3.5	0.4	0.1	16.5
	(再掲) 定年退職	(0.5)	100.0	19.6	-	-	2.7	16.9	38.5	29.1	24.3	4.1	-	0.7	12.8
	無職継続	(16.4)	100.0	32.4	0.2	0.6	3.2	28.4	24.3	28.2	25.9	2.0	0.2	0.1	15.1
	男	(100.0)	100.0	30.3	0.1	0.5	3.3	26.4	30.2	26.4	23.4	2.6	0.2	0.1	13.1
	同一就業継続	(85.8)	100.0	30.6	0.1	0.4	3.2	26.9	31.5	25.9	23.3	2.3	0.2	0.1	11.9
	転職	(3.8)	100.0	27.8	-	0.9	3.5	23.5	24.5	30.3	24.7	5.0	0.5	-	17.4
	新規就業	(1.9)	100.0	25.8	-	1.7	2.4	21.7	25.1	30.8	23.1	6.1	1.0	0.7	18.3
	離職	(3.6)	100.0	31.2	-	1.7	5.9	23.6	21.8	28.2	23.2	4.1	0.6	0.4	18.8
	(再掲) 定年退職	(0.6)	100.0	15.6	-	-	3.1	12.5	42.7	32.3	28.1	3.1	-	1.0	9.4
	無職継続	(4.6)	100.0	27.9	0.3	0.6	3.4	23.7	20.4	29.1	25.8	2.7	0.1	0.4	22.6
女	(100.0)	100.0	33.1	0.1	0.4	3.2	29.3	26.5	26.5	24.1	2.1	0.2	0.1	13.9	
同一就業継続	(59.5)	100.0	32.9	0.1	0.3	3.1	29.4	27.9	25.9	23.6	2.1	0.2	0.1	13.3	
転職	(3.7)	100.0	33.4	-	0.5	3.7	29.2	24.0	27.5	24.5	2.7	0.2	0.2	15.0	
新規就業	(4.0)	100.0	32.5	0.5	0.8	2.5	28.8	25.1	25.5	23.1	2.0	0.3	0.2	16.9	
離職	(5.0)	100.0	37.1	0.1	1.2	4.8	31.0	22.9	25.1	21.8	3.1	0.2	-	14.9	
(再掲) 定年退職	(0.3)	100.0	26.9	-	-	1.9	25.0	30.8	23.1	17.3	5.8	-	-	19.2	
無職継続	(27.4)	100.0	33.1	0.2	0.6	3.2	29.1	24.9	28.1	26.0	1.9	0.2	0.0	13.9	

- 注：1) 過去1か月間に感じたことの状況は、6項目（「神経過敏に感じましたか」「絶望的だと感じましたか」「そろそろ、落ち着かなく感じましたか」「気分が沈み込んで、何が起こっても気が晴れないように感じましたか」「何をするのも骨折りだと感じましたか」「自分は価値のない人間だと感じましたか」）について、それぞれ、「いつも」を5点、「たいてい」を4点、「ときどき」を3点、「少しだけ」を2点、「まったくない」を1点として、一人当たりの合計点を算出している。
- 2) 第1回から第2回にかけての過去1か月間に感じたことの状況の変化は、1)の合計点について、第1回と第2回を比較したものである。
- 3) 定年退職は、離職理由を「定年のため」としている者である。また、第1回と第2回に間に2回以上離職した場合は、直近の離職理由を計上している。
- 4) 第1回から第2回にかけての就業状況の変化の総数、男、女には、就業状況の変化不詳を含む。

4 日常生活活動の困難の有無の変化

第1回で困難の点数が高いほど、第2回においても「困難あり」である割合が高くなっている。

性、第1回の日常生活活動の困難の有無別に、第2回の日常生活活動の困難の有無をみると、第1回に「困難あり」であった者のうち第2回で「困難なし」になった者の割合は46.3%、「困難なし」であった者のうち「困難あり」になった者の割合は5.2%となっている。

また、困難の点数別にみると、第1回に「困難あり」であった者は、困難な点数が高いほど、第2回においても「困難あり」である割合が高くなっている。(表9)

表9 性、第1回の日常生活活動の困難の有無、困難の点数別にみた
第2回の日常生活活動の困難の有無、困難の点数

(単位：%)

		第2回の日常生活活動の困難の有無、困難の点数								
		総数	困難なし	困難あり					不詳	
					1～2点	3～10点	11～20点	不詳		
第1回 の 日 常 生 活 活 動 の 困 難 の 有 無	総数	(100.0)	100.0	88.2	9.1	4.8	2.5	0.6	1.1	2.8
	困難なし	(87.5)	100.0	92.4	5.2	3.0	1.2	0.1	0.9	2.4
	困難あり	(7.9)	100.0	46.3	51.3	24.7	17.5	6.2	3.0	2.3
	1～2点	(4.6)	100.0	55.6	42.3	27.6	10.7	1.6	2.4	2.1
	3～10点	(2.1)	100.0	29.0	69.0	26.0	34.5	5.8	2.7	2.0
	11～20点	(0.5)	100.0	11.5	87.3	10.9	22.4	52.1	1.8	1.2
男	総数	(100.0)	100.0	89.8	7.4	3.6	2.1	0.5	1.2	2.8
	困難なし	(89.7)	100.0	93.1	4.5	2.3	1.1	0.1	1.0	2.4
	困難あり	(6.1)	100.0	48.6	49.1	21.7	17.0	6.8	3.6	2.3
	1～2点	(3.3)	100.0	58.0	40.2	25.1	10.3	1.8	3.0	1.8
	3～10点	(1.7)	100.0	34.6	64.2	21.4	34.2	5.1	3.5	1.2
	11～20点	(0.5)	100.0	13.5	85.1	17.6	17.6	48.6	1.4	1.4
女	総数	(100.0)	100.0	86.7	10.6	5.9	2.9	0.7	1.0	2.8
	困難なし	(85.4)	100.0	91.8	5.9	3.7	1.2	0.1	0.8	2.4
	困難あり	(9.6)	100.0	45.0	52.6	26.5	17.7	5.8	2.6	2.4
	1～2点	(5.9)	100.0	54.4	43.4	28.9	11.0	1.5	2.0	2.2
	3～10点	(2.5)	100.0	25.4	72.1	28.9	34.7	6.3	2.3	2.5
	11～20点	(0.6)	100.0	9.9	89.0	5.5	26.4	54.9	2.2	1.1

注：1) 日常生活活動とは、「歩く」「ベッドや床から起き上がる」「いすに座ったり立ち上がったりする」「衣服を着たり脱いだりする」「手や顔を洗う」「食事をする」「排せつ」「入浴をする」「階段の上り下り」「買い物したものの持ち運び」をいう。

2) 困難の点数とは、日常生活活動に困難がある場合、各活動について、それぞれ「何らかの困難はあるが、独力でできる」を1点、「独力ではできないので介助が必要」を2点として、算出した合計点をいう。

3) 第1回の日常生活活動の困難の有無の総数、男、女には、困難の有無不詳を含む。また、第1回の「困難あり」には、困難の点数不詳を含む。

Ⅲ 就業の状況

1 就業状況の変化

(1) 就業状況の変化

第1回から第2回にかけて離職したのは、男は3.6%、女は5.0%。

性別に第1回から第2回にかけての就業状況の変化をみると、男では3.8%が転職し、3.6%が離職した。また、定年退職したのは0.6%であった。

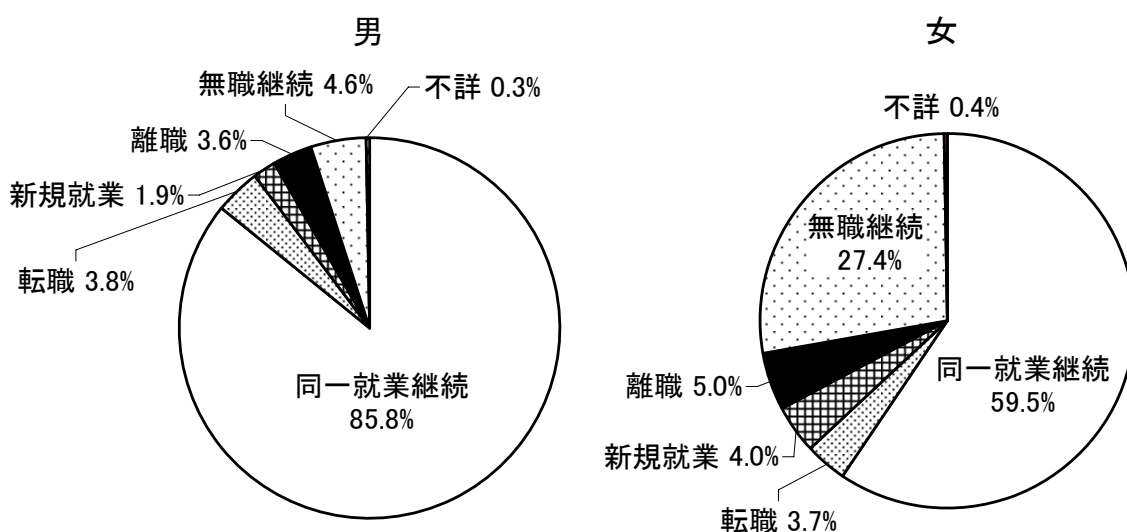
女では3.7%が転職し、5.0%が離職した。定年退職は0.3%であった。(表10、図4)

表10 性、年齢階級別にみた第1回から第2回にかけての就業状況の変化

	総数	同一就業 継続	転職	新規就業	離職	(再掲)		無職継続	不詳
						定年退職			
総数	(100.0)	100.0	72.3	3.7	3.0	4.3	0.5	16.4	0.3
51～55歳	(46.0)	100.0	76.1	3.6	3.1	3.7	0.1	13.2	0.3
56～60歳	(54.0)	100.0	69.0	3.8	2.9	4.9	0.8	19.1	0.3
男	(100.0)	100.0	85.8	3.8	1.9	3.6	0.6	4.6	0.3
51～55歳	(45.8)	100.0	88.4	3.4	1.8	2.7	0.2	3.4	0.3
56～60歳	(54.2)	100.0	83.6	4.1	2.1	4.3	1.0	5.6	0.2
女	(100.0)	100.0	59.5	3.7	4.0	5.0	0.3	27.4	0.4
51～55歳	(46.1)	100.0	64.5	3.9	4.4	4.6	0.0	22.3	0.3
56～60歳	(53.9)	100.0	55.2	3.5	3.6	5.5	0.6	31.8	0.4

注：定年退職は、離職理由を「定年のため」としている者である。また、第1回と第2回の間には2回以上離職した場合は、直近の離職理由を計上している。

図4 性別にみた第1回から第2回にかけての就業状況の変化



(2) 就業状況の変化と1か月間の収入額の増減

「転職」の場合、収入額の「増加」が24.8%、「減少」が45.9%と、減少の方が高くなっている。

第1回から第2回にかけての就業状況の変化別に、第1回から第2回にかけての1か月間の収入額の増減をみると、「同一就業継続」の場合、「増加」が30.3%、「減少」が28.8%と増加の方が高いが、「転職」の場合、「増加」が24.8%、「減少」が45.9%と減少の方が高くなっている。

また、転職のうち、仕事のかたちの正規、非正規の変化別にみると、「正規から非正規へ」の場合、「増加」が10.2%、「減少」が69.0%、「非正規から正規へ」の場合、「増加」が47.5%、「減少」が30.5%となっている。(表11)

表11 性、第1回から第2回にかけての就業状況の変化別にみた
第1回から第2回にかけての1か月間の収入額の増減

		(単位：%)													
		総数	増加	変化なし				減少	不詳						
				21万円以上	11~20万円	6~10万円	5万円以下		5万円以下	6~10万円	11~20万円	21万円以上			
第1回から第2回にかけての就業状況の変化	総数	(100.0)	100.0	26.3	2.8	3.0	5.4	15.1	31.4	26.8	14.5	5.3	3.5	3.5	15.4
	同一就業継続	(72.3)	100.0	30.3	3.1	3.0	5.8	18.4	24.3	28.8	17.5	5.3	3.1	2.9	16.6
	(再掲) 正規	(32.4)	100.0	33.2	2.4	3.3	6.5	21.0	22.0	30.3	19.5	5.9	2.9	2.1	14.4
	(再掲) 非正規	(18.1)	100.0	30.4	1.5	1.3	3.7	24.0	27.0	28.7	22.5	2.8	1.6	1.8	13.8
	転職	(3.7)	100.0	24.8	3.0	3.6	5.0	13.2	12.1	45.9	19.6	8.6	7.8	9.9	17.2
	(再掲) 正規から非正規へ	(0.6)	100.0	10.2	1.6	1.1	1.6	5.9	6.4	69.0	15.0	12.3	16.6	25.1	14.4
	(再掲) 非正規から正規へ	(0.2)	100.0	47.5	8.5	11.9	8.5	18.6	8.5	30.5	16.9	3.4	5.1	5.1	13.6
	新規就業	(3.0)	100.0	63.8	6.6	12.5	22.7	21.9	10.2	9.9	3.9	2.4	2.3	1.2	16.2
	離職	(4.3)	100.0	7.1	0.8	1.4	1.8	3.2	11.4	64.7	15.2	17.9	14.9	16.7	16.8
	(再掲) 定年退職	(0.5)	100.0	6.1	0.7	2.7	0.7	2.0	4.1	75.0	6.8	11.5	26.4	30.4	14.9
	無職継続	(16.4)	100.0	7.7	1.2	1.4	1.9	3.3	76.9	7.4	2.2	1.8	1.7	1.7	7.9
	男	(100.0)	100.0	29.8	4.0	4.2	6.8	14.7	21.9	30.6	14.4	6.5	4.6	5.1	17.7
	同一就業継続	(85.8)	100.0	31.1	4.1	3.9	7.1	16.1	21.3	30.1	15.7	6.7	3.8	3.8	17.5
	(再掲) 正規	(49.6)	100.0	33.2	2.6	3.7	7.2	19.8	21.5	31.1	19.2	6.6	3.0	2.3	14.1
(再掲) 非正規	(7.8)	100.0	30.3	2.9	2.6	6.2	18.6	17.9	33.2	18.7	6.0	4.0	4.5	18.6	
転職	(3.8)	100.0	23.1	4.0	4.9	5.2	9.0	9.2	49.4	13.0	8.3	12.0	16.0	18.3	
(再掲) 正規から非正規へ	(0.8)	100.0	10.1	2.3	1.6	2.3	3.9	8.5	66.7	12.4	9.3	17.1	27.9	14.7	
(再掲) 非正規から正規へ	(0.2)	100.0	45.7	11.4	11.4	5.7	17.1	2.9	34.3	17.1	2.9	8.6	5.7	17.1	
新規就業	(1.9)	100.0	57.6	11.5	22.7	13.9	9.5	6.8	14.9	5.1	4.7	3.4	1.7	20.7	
離職	(3.6)	100.0	9.8	0.9	2.0	3.1	3.7	9.2	58.7	5.9	6.6	17.0	29.2	22.3	
(再掲) 定年退職	(0.6)	100.0	5.2	-	3.1	1.0	1.0	3.1	76.0	3.1	4.2	27.1	41.7	15.6	
無職継続	(4.6)	100.0	15.5	2.6	3.4	4.3	5.2	60.1	11.6	2.4	2.8	4.1	2.3	12.8	
女	(100.0)	100.0	23.1	1.6	1.8	4.1	15.6	40.4	23.2	14.7	4.1	2.4	2.0	13.3	
同一就業継続	(59.5)	100.0	29.2	1.8	1.7	4.1	21.7	28.4	27.0	20.0	3.3	2.0	1.7	15.4	
(再掲) 正規	(16.2)	100.0	33.1	1.9	2.2	4.6	24.4	23.4	28.1	20.2	4.1	2.3	1.6	15.4	
(再掲) 非正規	(27.8)	100.0	30.5	1.1	1.0	3.0	25.4	29.4	27.6	23.6	2.0	1.0	1.0	12.6	
転職	(3.7)	100.0	26.4	2.0	2.4	4.7	17.2	14.9	42.6	26.0	8.8	3.7	4.1	16.2	
(再掲) 正規から非正規へ	(0.4)	100.0	10.3	-	-	-	10.3	1.7	74.1	20.7	19.0	15.5	19.0	13.8	
(再掲) 非正規から正規へ	(0.1)	100.0	50.0	4.2	12.5	12.5	20.8	16.7	25.0	16.7	4.2	-	4.2	8.3	
新規就業	(4.0)	100.0	66.6	4.3	7.9	26.8	27.6	11.8	7.6	3.4	1.4	1.9	0.9	14.1	
離職	(5.0)	100.0	5.4	0.7	1.0	0.9	2.8	12.9	68.7	21.4	25.3	13.5	8.4	13.1	
(再掲) 定年退職	(0.3)	100.0	7.7	1.9	1.9	-	3.8	5.8	73.1	13.5	25.0	25.0	9.6	13.5	
無職継続	(27.4)	100.0	6.5	0.9	1.1	1.5	3.0	79.6	6.7	2.2	1.6	1.3	1.6	7.1	

- 注：1) 1か月間の収入額とは、「働いて得た所得」「公的年金」「雇用保険」「その他の社会保障給付金」「私的年金」「仕送り」「資産収入」「その他」の合計の金額である。
- 2) 定年退職は、離職理由を「定年のため」としている者である。また、第1回と第2回の間には2回以上離職した場合は、直近の離職理由を計上している。
- 3) 第1回から第2回にかけての就業状況の変化の総数、男、女には、就業状況の変化不詳を含む。

2 離職者の離職前後の状況の変化

(1) 健康状態の変化

健康状態が「よい」であった者のうち「わるい」になった者の割合は、男 19.4%、女 13.9%。

第1回に仕事をしており第2回で仕事をしていなかった者について、性、第1回の健康状態別に第2回の健康状態をみると、第1回に「よい」であった者のうち第2回で「わるい」になった者の割合は、男 19.4%、女 13.9%となっており、全体の変化（男 9.8%、女 8.8%（表2））に比べて、男は特に高くなっている（表12）。

表12 性、第1回の健康状態別にみた第2回の健康状態

(単位：%)

	総数	第2回の健康状態									
		よい			わるい			不詳			
		大変良い	良い	どちらかといえば良い	どちらかといえば悪い	悪い	大変悪い				
総数	(100.0)	100.0	73.5	5.7	28.6	39.2	26.0	19.0	5.0	2.0	0.5
よい	(77.7)	100.0	83.7	7.0	33.9	42.8	15.9	12.7	2.6	0.7	0.4
大変良い	(6.5)	100.0	92.1	39.3	39.3	13.5	7.9	5.6	1.1	1.1	-
良い	(28.1)	100.0	86.6	5.8	47.6	33.2	13.1	11.5	1.0	0.5	0.3
どちらかといえば良い	(43.0)	100.0	80.5	2.9	24.1	53.5	19.0	14.5	3.8	0.7	0.5
わるい	(21.4)	100.0	37.1	0.7	9.3	27.1	61.9	41.9	13.1	6.9	1.0
どちらかといえば悪い	(16.0)	100.0	41.9	0.9	9.7	31.3	57.1	43.3	8.8	5.1	0.9
悪い	(4.0)	100.0	22.2	-	7.4	14.8	75.9	40.7	25.9	9.3	1.9
大変悪い	(1.5)	100.0	25.0	-	10.0	15.0	75.0	30.0	25.0	20.0	-
第1回の健康状態											
男	(100.0)	100.0	68.6	6.1	26.6	36.0	31.0	21.4	6.6	3.0	0.4
よい	(72.3)	100.0	80.1	7.9	33.4	38.8	19.4	15.1	3.3	1.0	0.5
大変良い	(4.8)	100.0	84.6	34.6	34.6	15.4	15.4	15.4	-	-	-
良い	(27.3)	100.0	84.5	6.8	44.6	33.1	14.9	13.5	0.7	0.7	0.7
どちらかといえば良い	(40.2)	100.0	76.6	5.5	25.7	45.4	22.9	16.1	5.5	1.4	0.5
わるい	(26.9)	100.0	39.0	1.4	8.9	28.8	61.0	38.4	14.4	8.2	-
どちらかといえば悪い	(19.4)	100.0	44.8	1.9	7.6	35.2	55.2	41.9	7.6	5.7	-
悪い	(5.5)	100.0	23.3	-	13.3	10.0	76.7	36.7	30.0	10.0	-
大変悪い	(2.0)	100.0	27.3	-	9.1	18.2	72.7	9.1	36.4	27.3	-
女	(100.0)	100.0	76.7	5.4	30.0	41.4	22.6	17.4	3.9	1.3	0.6
よい	(81.3)	100.0	85.8	6.5	34.2	45.2	13.9	11.3	2.1	0.5	0.3
大変良い	(7.7)	100.0	95.2	41.3	41.3	12.7	4.8	1.6	1.6	1.6	-
良い	(28.6)	100.0	88.0	5.1	49.6	33.3	12.0	10.3	1.3	0.4	-
どちらかといえば良い	(44.9)	100.0	82.8	1.4	23.2	58.3	16.6	13.6	2.7	0.3	0.5
わるい	(17.7)	100.0	35.2	-	9.7	25.5	62.8	45.5	11.7	5.5	2.1
どちらかといえば悪い	(13.7)	100.0	39.3	-	11.6	27.7	58.9	44.6	9.8	4.5	1.8
悪い	(2.9)	100.0	20.8	-	-	20.8	75.0	45.8	20.8	8.3	4.2
大変悪い	(1.1)	100.0	22.2	-	11.1	11.1	77.8	55.6	11.1	11.1	-

注：1) 集計対象は、第1回に仕事をしており、第2回で仕事をしていなかった者である。
2) 第1回の健康状態の総数、男、女には、健康状態不詳を含む。

(2) 住居の状況の変化

「持ち家以外」であった者のうち「持ち家」になった者の割合は、51～55歳で8.4%、56～60歳で21.8%。

第1回に仕事をしており第2回で仕事をしていなかった者について、年齢階級、第1回の住居の状況別に、第2回の住居の状況をみると、第1回に「持ち家以外」であった者のうち第2回で「持ち家」になった者の割合は、51～55歳で8.4%、56～60歳で21.8%と、年齢階級が高い方が高くなっている。

また、第1回に「持ち家」で「住宅ローンあり」であった者のうち、第2回で「住宅ローンなし」になった者の割合は、51～55歳で16.0%、56～60歳で22.4%となっている。(表13、統計表3)

表13 年齢階級、第1回の住居の状況別にみた第2回の住居の状況

		第2回の住居の状況 (単位：%)										
		総数	持ち家				持ち家以外				不詳	
			住宅ローンあり	住宅ローンなし	不詳	賃貸住宅	社宅等	その他				
第1回の住居の状況	総数	(100.0)	100.0	85.4	25.7	59.4	0.4	13.4	10.3	1.5	1.6	1.2
	持ち家	(84.4)	100.0	98.1	29.8	67.8	0.4	1.0	0.3	0.1	0.6	0.9
	住宅ローンあり	(29.3)	100.0	99.0	79.4	19.6	-	1.0	0.3	-	0.8	-
	住宅ローンなし	(51.5)	100.0	98.0	0.7	96.7	0.6	1.1	0.4	0.1	0.6	0.9
	持ち家以外	(15.1)	100.0	15.6	3.4	12.2	-	82.9	66.3	9.3	7.3	1.5
	賃貸住宅	(11.1)	100.0	6.6	2.6	4.0	-	91.4	86.8	-	4.6	2.0
	社宅等	(2.3)	100.0	32.3	9.7	22.6	-	67.7	12.9	54.8	-	-
	その他	(1.7)	100.0	52.2	-	52.2	-	47.8	4.3	8.7	34.8	-
	51～55歳	(38.8)	100.0	81.4	30.2	50.7	0.6	17.8	11.8	2.8	3.2	0.8
	持ち家	(31.7)	100.0	97.4	36.2	60.6	0.7	1.9	0.7	-	1.2	0.7
	住宅ローンあり	(12.9)	100.0	98.3	82.3	16.0	-	1.7	0.6	-	1.1	-
	住宅ローンなし	(17.4)	100.0	97.0	0.8	94.9	1.3	2.1	0.8	-	1.3	0.8
	持ち家以外	(7.0)	100.0	8.4	3.2	5.3	-	90.5	62.1	15.8	12.6	1.1
	賃貸住宅	(4.9)	100.0	4.5	3.0	1.5	-	94.0	88.1	-	6.0	1.5
	社宅等	(1.1)	100.0	6.7	6.7	-	-	93.3	-	93.3	-	-
	その他	(1.0)	100.0	30.8	-	30.8	-	69.2	-	7.7	61.5	-
	56～60歳	(61.2)	100.0	88.0	22.8	64.9	0.2	10.6	9.4	0.6	0.6	1.4
	持ち家	(52.7)	100.0	98.5	26.0	72.2	0.3	0.6	0.1	0.1	0.3	1.0
	住宅ローンあり	(16.4)	100.0	99.6	77.1	22.4	-	0.4	-	-	0.4	-
住宅ローンなし	(34.1)	100.0	98.5	0.6	97.6	0.2	0.6	0.2	0.2	0.2	0.9	
持ち家以外	(8.1)	100.0	21.8	3.6	18.2	-	76.4	70.0	3.6	2.7	1.8	
賃貸住宅	(6.2)	100.0	8.3	2.4	6.0	-	89.3	85.7	-	3.6	2.4	
社宅等	(1.2)	100.0	56.3	12.5	43.8	-	43.8	25.0	18.8	-	-	
その他	(0.7)	100.0	80.0	-	80.0	-	20.0	10.0	10.0	-	-	

注：1) 集計対象は、第1回に仕事をしており、第2回で仕事をしていなかった者である。

2) 第1回の住居の状況の総数、51～55歳、56～60歳には、住居の状況不詳を含む。また、第1回の「持ち家」には、住宅ローンの有無不詳を含む。

3 再就職の状況

(1) 年齢別にみた状況

男女とも、年齢階級が高い方が第2回に「仕事をしている」者の割合が低い。

第1回に就いていた仕事をこの1年間にやめた者について、性、年齢階級別に第2回の仕事の状況をみると、第2回で「仕事をしている」の割合は、男51.5%、女42.0%となっている。男女とも、年齢階級が高い方が、「仕事をしている」の割合が低くなっている。女は、60歳の場合、全体に比べて特に低くなっている。

また、第1回の仕事のかたちの正規・非正規別にみると、男女とも、第1回の仕事が非正規の方が、第2回で「仕事をしている」の割合が高くなっている。(表14)

表14 性、年齢階級別にみた第2回の仕事の状況

(単位：%)

		第2回の仕事の状況									
		総数	仕事をしている			仕事をしていない			不詳	不詳	
			(再掲) 正規	(再掲) 非正規		仕事をしたい	仕事をしたくない				
性、 年齢階級、 (再掲) 第1回 の 正規・ 非正規	総数	(100.0)	100.0	46.2	12.0	27.3	53.8	31.3	20.1	2.4	0.0
	(再掲) 正規	(37.8)	100.0	46.5	22.5	19.6	53.5	30.4	20.2	2.8	-
	(再掲) 非正規	(42.6)	100.0	50.3	5.5	42.0	49.6	31.5	17.1	1.0	0.1
	51～55歳	(41.7)	100.0	49.9	14.0	29.4	50.0	32.0	16.4	1.6	0.1
	(再掲) 正規	(14.4)	100.0	50.8	28.8	18.1	49.2	30.8	15.7	2.7	-
	(再掲) 非正規	(19.3)	100.0	53.5	5.7	45.7	46.3	32.0	13.7	0.6	0.2
	56～60歳	(58.3)	100.0	43.6	10.7	25.8	56.4	30.7	22.7	3.0	-
	(再掲) 正規	(23.4)	100.0	43.9	18.6	20.4	56.1	30.2	23.0	2.9	-
	(再掲) 非正規	(23.3)	100.0	47.6	5.3	38.9	52.4	31.1	19.9	1.4	-
	(再掲) 60歳	(13.8)	100.0	41.7	8.9	26.4	58.3	33.9	23.6	0.9	-
	男	(100.0)	100.0	51.5	20.3	21.6	48.5	28.6	17.0	3.0	-
	(再掲) 正規	(59.5)	100.0	49.9	25.3	19.4	50.1	28.3	18.6	3.2	-
	(再掲) 非正規	(20.6)	100.0	57.8	15.2	37.0	42.2	30.4	10.4	1.3	-
	51～55歳	(37.7)	100.0	55.8	25.9	20.2	44.2	28.0	13.5	2.6	-
	(再掲) 正規	(21.3)	100.0	54.6	34.5	16.0	45.4	27.7	13.9	3.8	-
	(再掲) 非正規	(8.6)	100.0	59.4	16.7	37.5	40.6	30.2	8.3	2.1	-
	56～60歳	(62.3)	100.0	48.9	17.0	22.4	51.1	28.9	19.1	3.2	-
	(再掲) 正規	(38.2)	100.0	47.3	20.1	21.3	52.7	28.6	21.3	2.8	-
	(再掲) 非正規	(12.0)	100.0	56.7	14.2	36.6	43.3	30.6	11.9	0.7	-
	(再掲) 60歳	(18.9)	100.0	49.3	13.7	29.4	50.7	30.3	19.9	0.5	-
女	(100.0)	100.0	42.0	5.5	31.8	57.9	33.4	22.6	2.0	0.1	
(再掲) 正規	(20.6)	100.0	38.8	16.2	19.9	61.2	35.4	23.7	2.1	-	
(再掲) 非正規	(60.0)	100.0	48.2	2.8	43.4	51.7	31.8	18.9	0.9	0.1	
51～55歳	(44.8)	100.0	45.9	6.0	35.6	54.0	34.7	18.4	0.9	0.2	
(再掲) 正規	(8.9)	100.0	43.7	18.3	22.2	56.3	36.5	19.0	0.8	-	
(再掲) 非正規	(27.8)	100.0	52.0	3.1	47.7	47.7	32.4	15.1	0.3	0.3	
56～60歳	(55.2)	100.0	38.8	5.0	28.8	61.2	32.4	26.0	2.8	-	
(再掲) 正規	(11.7)	100.0	35.2	14.5	18.2	64.8	34.5	27.3	3.0	-	
(再掲) 非正規	(32.2)	100.0	44.9	2.6	39.6	55.1	31.3	22.2	1.5	-	
(再掲) 60歳	(9.7)	100.0	29.9	1.5	21.9	70.1	39.4	29.2	1.5	-	

注：集計対象は、第1回に仕事をしており、第2回までの間に離職経験ありの者である。

(2) 離職理由別にみた状況

第2回に「仕事をしている」者の割合は、離職理由が「新しい仕事が見つかったから」の場合に最も高く、次いで「契約期間が満了したから」「倒産したから」。

第1回で就いていた仕事をこの1年間にやめた者について、離職理由別に第2回の仕事の状況をみると、第2回に「仕事をしている」の割合は、「新しい仕事が見つかったから」の場合に98.2%と最も高く、次いで「契約期間が満了したから」が69.5%、「倒産したから」が58.6%となっている。

一方、「家族の介護・看護のため」の場合に30.0%と最も低く、次いで「健康がすぐれなかったから」が40.1%、「定年のため」が42.4%となっている。(表15)

表15 性、離職理由(複数回答)別にみた、第2回の仕事の状況

(単位: %)

	総数	仕事をしていない	仕事をしている			不詳	
			仕事をしていない	仕事をしたい	仕事をし たくない		
総数	(100.0) 100.0	46.2	53.8	31.3	20.1	2.4	0.0
定年のため	(10.2) 100.0	42.4	57.6	33.1	23.3	1.2	-
契約期間が満了したから	(6.5) 100.0	69.5	30.5	25.0	5.5	-	-
希望退職に応じたから	(6.2) 100.0	49.7	50.3	33.8	16.6	-	-
倒産したから	(3.4) 100.0	58.6	41.4	37.9	2.3	1.1	-
解雇されたから	(6.0) 100.0	54.3	45.7	39.7	4.6	1.3	-
新しい仕事が見つかったから	(6.5) 100.0	98.2	1.8	1.2	0.6	-	-
健康がすぐれなかったから	(9.4) 100.0	40.1	59.5	39.7	19.4	0.4	0.4
家族の介護・看護のため	(4.4) 100.0	30.0	70.0	44.5	23.6	1.8	-
その他	(19.5) 100.0	57.1	42.9	27.8	14.4	0.6	-
不詳	(33.3) 100.0	28.3	71.7	33.2	32.6	5.9	-
男	(100.0) 100.0	51.5	48.5	28.6	17.0	3.0	-
定年のため	(16.2) 100.0	47.0	53.0	28.2	23.8	1.1	-
契約期間が満了したから	(4.2) 100.0	74.5	25.5	23.4	2.1	-	-
希望退職に応じたから	(7.9) 100.0	51.1	48.9	38.6	10.2	-	-
倒産したから	(3.8) 100.0	65.1	34.9	34.9	-	-	-
解雇されたから	(6.6) 100.0	59.5	40.5	37.8	1.4	1.4	-
新しい仕事が見つかったから	(6.0) 100.0	100.0	-	-	-	-	-
健康がすぐれなかったから	(7.0) 100.0	46.2	53.8	43.6	9.0	1.3	-
家族の介護・看護のため	(1.3) 100.0	35.7	64.3	35.7	21.4	7.1	-
その他	(17.4) 100.0	69.6	30.4	23.7	6.2	0.5	-
不詳	(33.7) 100.0	32.7	67.3	29.0	30.9	7.4	-
女	(100.0) 100.0	42.0	57.9	33.4	22.6	2.0	0.1
定年のため	(5.4) 100.0	31.6	68.4	44.7	22.4	1.3	-
契約期間が満了したから	(8.3) 100.0	67.5	32.5	25.6	6.8	-	-
希望退職に応じたから	(4.9) 100.0	47.8	52.2	27.5	24.6	-	-
倒産したから	(3.1) 100.0	52.3	47.7	40.9	4.5	2.3	-
解雇されたから	(5.5) 100.0	49.4	50.6	41.6	7.8	1.3	-
新しい仕事が見つかったから	(6.9) 100.0	96.9	3.1	2.1	1.0	-	-
健康がすぐれなかったから	(11.3) 100.0	37.1	62.3	37.7	24.5	-	0.6
家族の介護・看護のため	(6.8) 100.0	29.2	70.8	45.8	24.0	1.0	-
その他	(21.1) 100.0	49.0	51.0	30.5	19.8	0.7	-
不詳	(33.0) 100.0	24.7	75.3	36.6	34.0	4.7	-

注: 1) 集計対象は、第1回に仕事をしており、第2回までの間に離職経験ありの者である。
2) 第1回と第2回の間2回以上離職している者は、直近の離職理由を計上している。

(3) 第1回の仕事のための免許・資格の取得の有無別にみた状況

男女とも、第1回に「資格あり」の方が「資格なし」よりも、第2回に「仕事をしている」者の割合が高い。

第1回に就いていた仕事をこの1年間にやめた者について、性、第1回の仕事のための免許・資格の取得の有無別に第2回の仕事の状況をみると、男女とも、第1回に「資格あり」の方が「資格なし」よりも、第2回に「仕事をしている」の割合が高い。また、女の方が、「資格あり」と「資格なし」の差が大きい。(表16、図5)

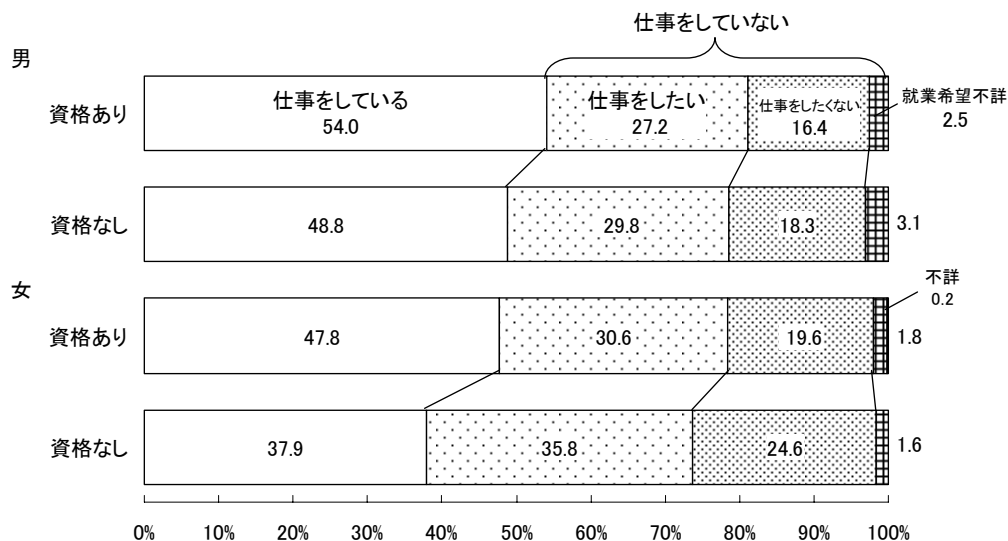
表16 性、第1回の仕事のための免許・資格の取得の有無別にみた第2回の仕事の状況

(単位：%)

	総数	仕事をしている	仕事をしていない			不詳	
			仕事をしたい	仕事をしたくない	不詳		
第1回 免許・ 資格の 取得の有無							
総数	(100.0) 100.0	46.2	53.8	31.3	20.1	2.4	0.0
資格あり	(44.0) 100.0	51.2	48.7	28.7	17.8	2.2	0.1
資格なし	(51.5) 100.0	41.7	58.3	33.7	22.4	2.2	-
男	(100.0) 100.0	51.5	48.5	28.6	17.0	3.0	-
資格あり	(54.7) 100.0	54.0	46.0	27.2	16.4	2.5	-
資格なし	(40.6) 100.0	48.8	51.2	29.8	18.3	3.1	-
女	(100.0) 100.0	42.0	57.9	33.4	22.6	2.0	0.1
資格あり	(35.5) 100.0	47.8	52.0	30.6	19.6	1.8	0.2
資格なし	(60.2) 100.0	37.9	62.1	35.8	24.6	1.6	-

注：1) 集計対象は、第1回に仕事をしており、第2回までの間に離職経験ありの者である。
2) 第1回の仕事のための免許・資格の取得の有無の総数、男、女には、仕事のための免許・資格の取得の有無不詳を含む。

図5 性、第1回の仕事のための免許・資格の取得の有無別にみた第2回の仕事の状況



注：集計対象は、第1回に仕事をしており、第2回までの間に離職経験ありの者である。

(4) 第1回の仕事のための能力開発・自己啓発の状況別にみた状況

第1回に「能力開発・自己啓発をした」の方が「能力開発・自己啓発をしなかった」より、第2回に「仕事をしている」者の割合が高い。

第1回に就いていた仕事をこの1年間でやめた者について、性、第1回の仕事のための能力開発・自己啓発の状況別に、第2回の仕事の状況をみると、男女とも第1回に「能力開発・自己啓発をした」の方が「能力開発・自己啓発をしなかった」より、第2回に「仕事をしている」の割合が高い。また、女の方が、能力開発・自己啓発をした者としなかった者の差が大きい。(表17、図6)

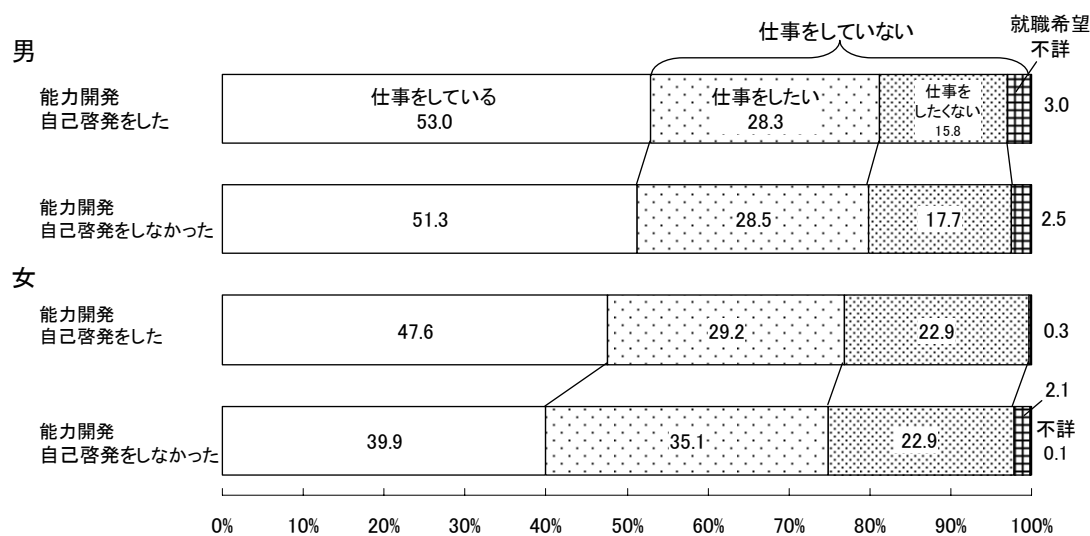
表17 性、第1回の仕事のための能力開発・自己啓発の状況別にみた第2回の仕事の状況

(単位：%)

	総数	仕事をしている	仕事をしていない			不詳	
			仕事をしたい	仕事をしたくない	不詳		
第1回 能力開発・自己啓発の状況							
総数	(100.0) 100.0	46.2	53.8	31.3	20.1	2.4	0.0
能力開発・自己啓発をした	(24.7) 100.0	50.2	49.8	28.7	19.4	1.6	-
能力開発・自己啓発をしなかった	(69.3) 100.0	44.7	55.3	32.3	20.7	2.2	0.1
男	(100.0) 100.0	51.5	48.5	28.6	17.0	3.0	-
能力開発・自己啓発をした	(27.2) 100.0	53.0	47.0	28.3	15.8	3.0	-
能力開発・自己啓発をしなかった	(65.6) 100.0	51.3	48.7	28.5	17.7	2.5	-
女	(100.0) 100.0	42.0	57.9	33.4	22.6	2.0	0.1
能力開発・自己啓発をした	(22.6) 100.0	47.6	52.4	29.2	22.9	0.3	-
能力開発・自己啓発をしなかった	(72.2) 100.0	39.9	60.0	35.1	22.9	2.1	0.1

- 注：1) 集計対象は、第1回に仕事をしており、第2回までの間に離職経験ありの者である。
 2) 仕事のための能力開発・自己啓発の状況とは、過去1年間の状況である。
 3) 第1回の仕事のための能力開発・自己啓発の状況の総数、男、女には、仕事のための能力開発・自己啓発の状況不詳を含む。

図6 性、第1回の仕事のための能力開発・自己啓発の状況別にみた第2回の仕事の状況



- 注：1) 集計対象は、第1回に仕事をしており、第2回までの間に離職経験ありの者である。
 2) 仕事のための能力開発・自己啓発の状況とは、過去1年間の状況である。

4 第1回に仕事をしていなかった女性の就業の状況

(1) 第1回就業希望の有無、求職活動の有無別にみた状況

「しばらく仕事をしていない」者のうち、「仕事をしたい」と考えていた者のうち、15.4%が第2回に仕事をしている。

第1回に仕事をしていなかった女性のうち、これまでの働き方が「これまで20年以上仕事をしていた」と「しばらく仕事をしていない」について、第1回就業希望の有無別に、第2回仕事の有無、仕事のかたちをみた。

第1回に「仕事をしたい」と考えていた者のうち第2回で「仕事をしている」の割合は、「これまで20年以上仕事をしていた」では22.3%、「しばらく仕事をしていない」では15.4%となっている。

また、第2回で「仕事をしている」者のうち、「正規の職員・従業員」の割合は、「これまで20年以上仕事をしていた」では7.0%、「しばらく仕事をしていない」では1.9%となっている。(表18)

表18 これまでの働き方、第1回就業希望の有無、希望する仕事のかたち別にみた第2回仕事の有無、仕事のかたち

(単位：%)

	総数	仕事をしている										仕事を していない	
		自営業 主	家族 従業者	会社・団 体等の役 員	正規の職 員・従業 員	パート・ アルバイト	労働者派遣事 業所の派遣社 員	契約社 員・嘱託	家庭での 内職など	その他			
第1回 就業 希望 の有 無、 希望 する 仕事 のか たち	これまで20年以上仕事をしていた	(100.0) 100.0	15.9	0.7	1.2	0.3	1.1	9.3	0.1	0.6	1.4	0.9	84.1
		(100.0	4.3	7.4	2.2	7.0	58.7	0.4	3.5	8.7	5.7)		
	仕事をしたい	(54.6) 100.0	22.3	0.5	1.0	0.1	1.8	14.5	0.1	0.8	2.1	1.0	77.7
	自営業主	(1.8) 100.0	38.5	7.7	-	3.8	3.8	11.5	-	-	11.5	-	61.5
	家業の手伝い	(1.1) 100.0	25.0	6.3	6.3	-	-	6.3	-	-	6.3	-	75.0
	家庭での内職など	(7.7) 100.0	11.7	-	0.9	-	0.9	1.8	-	-	7.2	0.9	88.3
	雇われて働く(フルタイム)	(4.7) 100.0	44.1	-	1.5	-	13.2	25.0	-	1.5	-	2.9	55.9
	雇われて働く(パートタイム)	(29.2) 100.0	23.4	0.2	0.9	-	0.7	19.1	0.2	0.7	0.9	-	76.6
	近所の人や会社に頼まれて任意で行う仕事	(1.8) 100.0	3.8	-	-	-	-	3.8	-	-	-	-	96.2
	有償型の社会参加活動	(3.7) 100.0	18.5	-	-	-	-	7.4	-	3.7	1.9	5.6	81.5
	その他	(2.2) 100.0	21.9	-	3.1	-	-	15.6	-	-	-	3.1	78.1
	仕事をしたくない	(43.9) 100.0	7.9	0.9	1.3	0.6	0.3	2.8	-	0.3	0.5	0.6	92.1
	しばらく仕事をしていない	(100.0) 100.0	10.4	0.6	1.5	0.3	0.2	5.5	0.0	0.3	1.0	0.9	89.4
		(100.0	6.1	14.0	2.8	1.9	53.3	0.5	2.8	9.3	8.4)		
仕事をしたい	(35.6) 100.0	15.4	0.4	1.9	-	0.4	9.1	0.1	0.4	1.5	1.4	84.3	
自営業主	(1.6) 100.0	15.2	6.1	-	-	-	6.1	-	3.0	-	-	84.8	
家業の手伝い	(1.1) 100.0	27.3	-	9.1	-	-	4.5	-	-	-	13.6	68.2	
家庭での内職など	(6.9) 100.0	8.5	-	0.7	-	-	2.8	-	-	3.5	1.4	91.5	
雇われて働く(フルタイム)	(0.9) 100.0	38.9	-	11.1	-	5.6	22.2	-	-	-	-	61.1	
雇われて働く(パートタイム)	(16.6) 100.0	18.7	0.3	1.5	-	0.6	13.1	0.3	0.6	1.2	0.9	81.0	
近所の人や会社に頼まれて任意で行う仕事	(2.1) 100.0	9.1	-	-	-	-	6.8	-	-	2.3	-	90.9	
有償型の社会参加活動	(2.7) 100.0	7.1	-	1.8	-	-	5.4	-	-	-	-	92.9	
その他	(2.1) 100.0	11.6	-	4.7	-	-	2.3	-	-	2.3	2.3	88.4	
仕事をしたくない	(62.0) 100.0	7.4	0.8	1.3	0.4	0.1	3.4	-	0.2	0.7	0.5	92.5	
(別掲) 女・総数	100.0	67.2	5.0	8.2	2.0	16.8	28.1	0.5	3.1	1.5	1.7	32.5	
	(100.0	7.4	12.3	3.0	25.0	41.9	0.7	4.6	2.2	2.6)			

注：1) 集計対象は、第1回に仕事をしておらず、これまでの働き方が「これまで20年以上仕事をしていた」または「しばらく仕事をしていない」である女性である。

2) 「これまで20年以上仕事をしていた」は、「ひとつの企業・団体等におおむね20年以上勤務していた」「勤め先は変わったが、同じ分野の仕事におおむね20年以上従事していた」「前2つに該当しないがおおむね20年以上仕事(自営業を除く)に従事していた」「自営業でおおむね20年以上、仕事をしていた」の合計である。

3) 「しばらく仕事をしていない」は、「仕事を中断し、それ以来仕事をしていない」「収入を伴う仕事をしたことがない」の合計である。

4) 「これまで20年以上仕事をしていた」には、仕事の有無不詳を含む。また、第1回の「仕事をしたい」には、仕事のかたち不詳を含む。

5) 総数には、仕事の有無不詳を含む。また、「仕事をしている」の総数には、仕事のかたち不詳を含む。

(2) 第1回の仕事のための免許・資格の取得の有無別にみた状況

「しばらく仕事をしていない」者は、資格の有無による就業の割合の違いはみられない。

第1回に仕事をしておらず、「仕事をしたい」と考えていた女性のうち、これまでの働き方が「これまで20年以上仕事をしていた」と「しばらく仕事をしていない」について、第1回の仕事のための免許・資格の取得の有無別に、第2回の仕事の状況をみた。

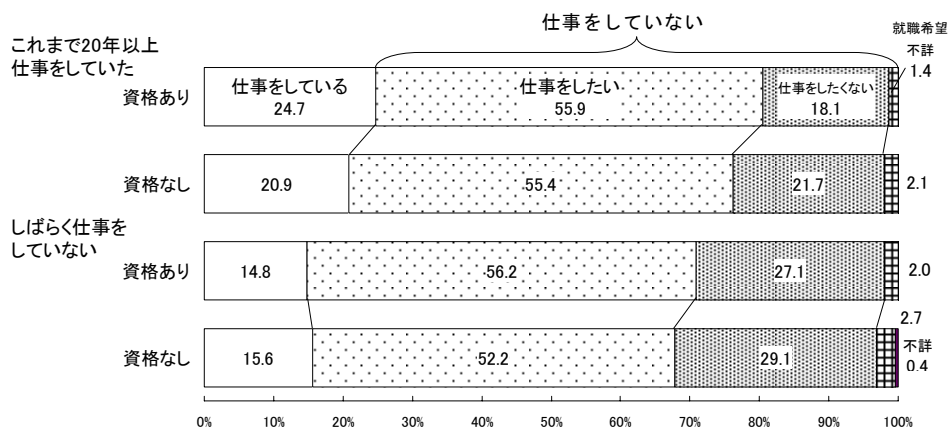
「これまで20年以上仕事をしていた」では、「資格あり」の方が「資格なし」よりも「仕事をしている」の割合が高くなっているが、「しばらく仕事をしていない」では、違いはみられない。(表19、図7)

表19 これまでの働き方、第1回の仕事のための免許・資格の取得の有無別にみた第2回の仕事の状況

	総数	仕事をしている	仕事をしていない			不詳			
			仕事をしたい	仕事をしたくない	不詳				
第1回免許・資格の取得の有無	これまで20年以上仕事をしていた	100.0	22.3	77.7	55.4	20.4	2.0	-	
	資格あり	36.4	100.0	24.7	75.3	55.9	18.1	1.4	-
	資格なし	61.2	100.0	20.9	79.1	55.4	21.7	2.1	-
	しばらく仕事をしていない	100.0	100.0	15.4	84.3	53.4	28.5	2.5	0.3
	資格あり	27.7	100.0	14.8	85.2	56.2	27.1	2.0	-
	資格なし	71.5	100.0	15.6	84.0	52.2	29.1	2.7	0.4

注：1) 集計対象は、第1回に仕事をしておらず、「仕事をしたい」と考えていた者で、これまでの働き方が「これまで20年以上仕事をしていた」または「しばらく仕事をしていない」である女性である。
 2) 「これまで20年以上仕事をしていた」は、「ひとつの企業・団体等におおむね20年以上勤務していた」「勤め先は変わったが、同じ分野の仕事におおむね20年以上従事していた」「前2つに該当しないがおおむね20年以上仕事(自営業を除く)に従事していた」「自営業でおおむね20年以上、仕事をしていた」の合計である。
 3) 「しばらく仕事をしていない」は、「仕事を中断し、それ以来仕事をしていない」「収入を伴う仕事をしたことがない」の合計である。
 4) 「これまで20年以上仕事をしていた」「しばらく仕事をしていない」には、第1回の仕事のための免許・資格の取得の有無不詳を含む。

図7 これまでの働き方、第1回の仕事のための免許・資格の取得の有無別にみた第2回の仕事の状況



注：1) 集計対象は、第1回に仕事をしておらず、「仕事をしたい」と考えていた者で、これまでの働き方が「これまで20年以上仕事をしていた」または「しばらく仕事をしていない」である女性である。
 2) 「これまで20年以上仕事をしていた」は、「ひとつの企業・団体等におおむね20年以上勤務していた」「勤め先は変わったが、同じ分野の仕事におおむね20年以上従事していた」「前2つに該当しないがおおむね20年以上仕事(自営業を除く)に従事していた」「自営業でおおむね20年以上、仕事をしていた」の合計である。
 3) 「しばらく仕事をしていない」は、「仕事を中断し、それ以来仕事をしていない」「収入を伴う仕事をしたことがない」の合計である。

(3) 第1回の仕事のための能力開発・自己啓発の状況別にみた状況

これまでの働き方にかかわらず、第1回に「能力開発・自己啓発をした」の方が、「能力開発・自己啓発しなかった」より、第2回に「仕事をしている」者の割合が高くなっている。

第1回に仕事をしておらず、「仕事をしたい」と考えていた女性のうち、これまでの働き方が「これまで20年以上仕事をしていた」と「しばらく仕事をしていない」について、第1回の仕事のための能力開発・自己啓発の状況別に、第2回の仕事の状況をみた。

これまでの働き方にかかわらず、第1回に「能力開発・自己啓発をした」の方が、「能力開発・自己啓発しなかった」より、第2回に「仕事をしている」者の割合が高くなっている。(表20、図8)

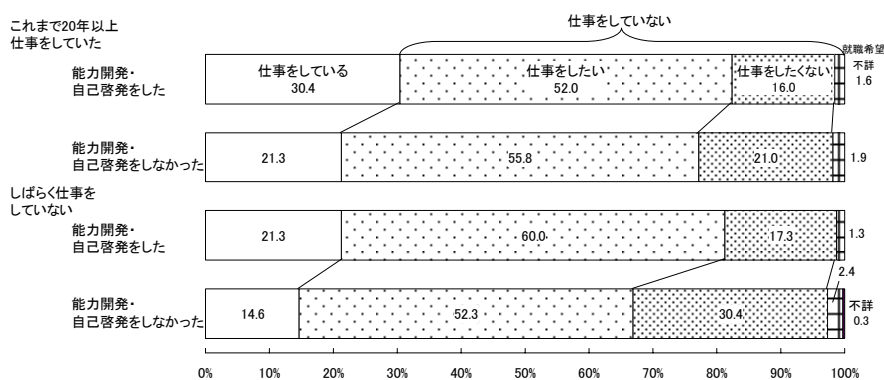
表20 これまでの働き方、第1回の仕事のための能力開発・自己啓発の状況別にみた第2回の仕事の状況

(単位：%)

	総数	仕事をしている	仕事をしていない			不詳			
			仕事をした たい	仕事をし たくない	不詳				
第1回 能力開 発の仕 事・事 自己啓 発の状 況	これまで20年以上仕事をしていた	(100.0)	100.0	22.3	77.7	55.4	20.4	2.0	-
	能力開発・自己啓発をした	(15.8)	100.0	30.4	69.6	52.0	16.0	1.6	-
	能力開発・自己啓発しなかった	(80.2)	100.0	21.3	78.7	55.8	21.0	1.9	-
	しばらく仕事をしていない	(100.0)	100.0	15.4	84.3	53.4	28.5	2.5	0.3
	能力開発・自己啓発をした	(10.2)	100.0	21.3	78.7	60.0	17.3	1.3	-
	能力開発・自己啓発しなかった	(86.0)	100.0	14.6	85.1	52.3	30.4	2.4	0.3

注：1) 集計対象は、第1回に仕事をしておらず、「仕事をしたい」と考えていた者で、これまでの働き方が「これまで20年以上仕事をしていた」または「しばらく仕事をしていない」である女性である。
 2) 「これまで20年以上仕事をしていた」は、「ひとつの企業・団体等におおむね20年以上勤務していた」「勤め先は変わったが、同じ分野の仕事におおむね20年以上従事していた」「前2つに該当しないがおおむね20年以上仕事(自営業を除く)に従事していた」「自営業でおおむね20年以上、仕事をしていた」の合計である。
 3) 「しばらく仕事をしていない」は、「仕事を中断し、それ以来仕事をしていない」「収入を伴う仕事をしたことがない」の合計である。
 4) 仕事のための能力開発・自己啓発の状況とは、過去1年間の状況である。
 5) 「これまで20年以上仕事をしていた」「しばらく仕事をしていない」には、第1回の仕事のための能力開発・自己啓発の状況不詳を含む。

図8 これまでの働き方、第1回の仕事のための能力開発・自己啓発の状況別にみた第2回の仕事の状況



注：1) 集計対象は、第1回に仕事をしておらず、「仕事をしたい」と考えていた者で、これまでの働き方が「これまで20年以上仕事をしていた」または「しばらく仕事をしていない」である女性である。
 2) 「これまで20年以上仕事をしていた」は、「ひとつの企業・団体等におおむね20年以上勤務していた」「勤め先は変わったが、同じ分野の仕事におおむね20年以上従事していた」「前2つに該当しないがおおむね20年以上仕事(自営業を除く)に従事していた」「自営業でおおむね20年以上、仕事をしていた」の合計である。
 3) 「しばらく仕事をしていない」は、「仕事を中断し、それ以来仕事をしていない」「収入を伴う仕事をしたことがない」の合計である。
 4) 仕事のための能力開発・自己啓発の状況とは、過去1年間の状況である。

統計表

統計表1 年齢階級、第1回の配偶者の有無、同居者の構成別にみた
第2回の配偶者の有無、同居者の構成（表1）

（単位：％）

	第2回の配偶者の有無、同居者の構成														
	総数	配偶者あり								配偶者なし					
		単独世帯 （配偶者と別居）	夫婦のみの世帯	三世帯世帯	親あり子なしの世帯	親なし子ありの世帯	その他の世帯	単独世帯	三世帯世帯	親あり子なしの世帯	親なし子ありの世帯	その他の世帯			
総数	(100.0)	100.0	85.7	1.0	23.1	15.5	6.8	36.3	0.4	14.2	5.7	0.9	3.3	3.0	0.6
51～55歳	(46.0)	100.0	85.9	1.0	18.2	19.5	6.4	38.5	0.3	13.9	5.1	1.1	4.2	2.5	0.5
配偶者あり	(39.6)	100.0	99.1	1.1	20.9	22.6	7.3	44.7	0.3	0.8	0.3	0.1	0.1	0.2	0.0
単独世帯（配偶者と別居）	(0.4)	100.0	92.5	43.6	19.5	1.5	0.8	21.1	0.8	7.5	6.0	-	-	-	0.8
夫婦のみの世帯	(6.9)	100.0	98.8	1.0	81.2	1.1	1.8	11.4	0.2	1.0	0.6	0.0	0.1	0.1	0.1
三世帯世帯	(9.9)	100.0	99.5	0.3	2.9	81.7	6.0	6.8	0.1	0.4	0.0	0.2	0.1	0.1	-
親あり子なしの世帯	(2.9)	100.0	98.1	0.6	8.1	13.0	73.0	1.2	0.7	1.8	0.3	0.1	1.2	-	-
親なし子ありの世帯	(19.0)	100.0	99.3	0.6	10.2	1.7	0.2	84.1	0.3	0.6	0.2	-	-	0.3	-
その他の世帯	(0.1)	100.0	90.0	-	20.0	3.3	6.7	10.0	43.3	10.0	6.7	-	-	-	-
配偶者なし	(6.4)	100.0	4.7	0.6	1.2	0.4	1.0	0.7	0.4	95.3	35.1	7.3	29.2	16.9	3.5
単独世帯	(2.0)	100.0	3.2	0.6	1.3	0.2	0.6	-	0.3	96.8	87.0	0.5	2.7	3.0	1.6
三世帯世帯	(0.5)	100.0	5.9	-	0.6	2.9	0.6	-	-	94.1	5.3	74.7	5.9	5.9	-
親あり子なしの世帯	(2.1)	100.0	3.6	0.2	0.6	0.2	2.0	0.2	0.2	96.4	8.0	1.1	82.3	0.2	1.7
親なし子ありの世帯	(1.3)	100.0	5.5	0.2	2.0	-	0.2	2.5	-	94.5	13.5	1.5	0.2	75.3	0.2
その他の世帯	(0.2)	100.0	12.8	2.6	3.8	-	-	1.3	5.1	87.2	14.1	1.3	2.6	2.6	56.4
56～60歳	(54.0)	100.0	85.5	1.0	27.3	12.2	7.2	34.4	0.5	14.3	6.1	0.8	2.5	3.5	0.7
配偶者あり	(46.4)	100.0	98.8	1.1	31.6	14.1	8.3	40.0	0.5	1.1	0.6	0.0	0.0	0.4	0.0
単独世帯	(0.5)	100.0	83.7	51.6	11.8	1.3	2.0	13.1	0.7	15.7	14.4	-	-	0.7	-
夫婦のみの世帯	(13.3)	100.0	98.6	0.7	85.4	0.5	1.5	6.9	0.4	1.2	0.9	-	-	0.2	0.1
三世帯世帯	(7.6)	100.0	99.5	0.2	3.4	76.8	8.7	8.2	-	0.5	0.0	0.3	0.1	0.1	-
親あり子なしの世帯	(3.9)	100.0	99.2	0.7	9.8	8.5	75.3	1.8	0.7	0.7	0.2	0.1	0.4	-	-
親なし子ありの世帯	(20.4)	100.0	99.0	0.4	11.4	1.4	0.3	82.0	0.4	0.9	0.3	-	-	0.6	-
その他の世帯	(0.2)	100.0	98.5	-	26.9	3.0	4.5	16.4	46.3	1.5	-	-	-	-	-
配偶者なし	(7.6)	100.0	5.1	0.6	1.3	0.3	0.5	0.9	0.1	94.9	40.2	5.4	17.3	22.8	5.0
単独世帯	(2.9)	100.0	4.0	1.3	1.2	-	0.2	0.2	0.1	96.0	84.7	0.2	1.9	3.4	1.2
三世帯世帯	(0.5)	100.0	6.0	-	0.7	4.0	0.7	-	-	94.0	5.3	70.9	7.3	7.3	-
親あり子なしの世帯	(1.5)	100.0	4.8	-	1.7	-	1.7	0.2	-	95.2	8.9	1.9	77.3	0.4	2.1
親なし子ありの世帯	(2.0)	100.0	6.6	0.5	1.6	0.3	-	2.4	-	93.4	11.5	1.4	-	77.3	0.3
その他の世帯	(0.4)	100.0	7.4	-	1.6	-	-	1.6	1.6	92.6	9.8	-	3.3	0.8	77.0

注：51～55歳、56～60歳には、第1回の配偶者の有無不詳を含む。また、「配偶者あり」「配偶者なし」には、同居者の構成不詳を含む。

統計表2 6つの疾病それぞれについて、第1回に医師から診断されている疾病がなかった者数、性、第2回の医師から診断されている6つの疾病の有無別（表5、6）

	糖尿病		心臓病		脳卒中		高血圧		高脂血症		悪性新生物	
	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり
総数	19 126	606	20 218	353	20 561	151	16 523	1 378	18 682	1 572	20 422	194
男	9 078	391	9 774	222	10 015	89	7 902	856	9 146	815	10 033	94
女	10 048	215	10 444	131	10 546	62	8 621	522	9 536	757	10 389	100

注：集計対象は以下のとおりである。

①「あり」は、それぞれの疾病について、医師から診断された疾病が、第1回はなかったが、第2回にあった者。

②「なし」は、それぞれの疾病について、第1回に医師から診断された疾病がなく、第2回で当該疾病を含む6疾病において、新たに疾病された疾病がなかった者。

統計表3 第1回の住居の状況別にみた第2回の住居の状況（全被調査者）（表13）

（単位：％）

		第2回の住居の状況										
		総数	持ち家			持ち家以外			不詳			
			住宅ローンあり	住宅ローンなし	不詳	賃貸住宅	社宅等	その他				
第1回の住居の状況	総数	(100.0)	100.0	85.0	31.5	53.2	0.3	13.9	10.4	1.4	2.1	1.1
	持ち家	(85.3)	100.0	98.2	36.6	61.3	0.3	1.2	0.3	0.1	0.7	0.7
	住宅ローンあり	(33.9)	100.0	98.6	86.8	11.6	0.2	0.8	0.3	0.1	0.4	0.6
	住宅ローンなし	(48.5)	100.0	98.1	1.0	96.9	0.1	1.4	0.3	0.1	0.9	0.6
	持ち家以外	(14.2)	100.0	7.3	2.0	5.2	0.1	90.5	70.9	9.1	10.5	2.2
	賃貸住宅	(10.6)	100.0	2.8	1.1	1.6	0.1	95.3	91.2	0.8	3.3	1.9
	社宅等	(1.6)	100.0	15.9	6.2	9.7	-	82.4	7.4	71.9	3.1	1.7
	その他	(1.9)	100.0	24.6	3.3	21.2	0.2	70.9	12.7	1.7	56.5	4.5
	51～55歳	(46.0)	100.0	84.1	36.1	47.8	0.2	14.8	10.4	1.9	2.5	1.1
	持ち家	(38.9)	100.0	97.9	42.2	55.4	0.3	1.4	0.4	0.2	0.9	0.7
	住宅ローンあり	(17.5)	100.0	98.4	88.5	9.7	0.2	1.0	0.4	0.2	0.4	0.6
	住宅ローンなし	(20.0)	100.0	97.6	1.2	96.2	0.2	1.7	0.4	0.1	1.3	0.7
	持ち家以外	(6.9)	100.0	8.0	2.3	5.6	0.1	90.2	67.2	11.5	11.5	1.8
賃貸住宅	(4.9)	100.0	2.9	1.4	1.4	0.1	96.0	91.3	1.1	3.5	1.2	
社宅等	(0.9)	100.0	13.2	6.4	6.8	-	84.8	6.4	75.7	2.7	2.0	
その他	(1.0)	100.0	27.1	3.0	24.1	-	68.3	9.1	2.1	57.0	4.6	
56～60歳	(54.0)	100.0	85.7	27.7	57.7	0.4	13.2	10.4	1.0	1.8	1.0	
持ち家	(46.4)	100.0	98.4	31.9	66.1	0.4	0.9	0.3	0.1	0.6	0.6	
住宅ローンあり	(16.4)	100.0	98.8	84.9	13.6	0.3	0.6	0.2	0.1	0.4	0.5	
住宅ローンなし	(28.5)	100.0	98.4	0.8	97.4	0.1	1.1	0.3	0.1	0.7	0.5	
持ち家以外	(7.3)	100.0	6.6	1.7	4.8	0.0	90.8	74.3	6.9	9.5	2.6	
賃貸住宅	(5.8)	100.0	2.7	0.9	1.8	-	94.7	91.1	0.5	3.2	2.5	
社宅等	(0.7)	100.0	19.5	5.9	13.6	-	79.1	8.6	66.8	3.6	1.4	
その他	(0.9)	100.0	21.7	3.6	17.7	0.4	74.0	17.0	1.1	56.0	4.3	

注：第1回の住居の状況の総数、51～55歳、56～60歳には、住居の状況不詳を含む。また、第1回の「持ち家」には、住宅ローンの有無不詳を含む。

参 考

図表番号	集計対象	客体数		
		男	女	合計
表1～4、 表7～11、 図3、4、 統計表1、3	被調査者	15,222	16,181	31,403
表12、13	第1回に仕事をしており、第2回で仕事していなかった者	542	817	1,359
表14～17 図5、6	第1回に仕事をしており、第1回から第2回の間 に離職経験ありの者	1,117	1,410	2,527
—	第1回に仕事をしていなかった女性	—	—	—
表18	これまで20年以上仕事をしていた者	—	1,449	1,449
表19、20 図7、8	第1回に仕事をしたいと考えていた者	—	791	791
表18	しばらく仕事をしていない者	—	2,061	2,061
表19、20 図7、8	第1回に仕事をしたいと考えていた者	—	734	734

注：表5、6、図1、2の集計客体数は、統計表2を参照。

用語の定義

1 調査対象

平成17年10月末時点で50～59歳（昭和20年11月～昭和30年10月生まれ）の男女

2 「配偶者」及び「夫婦」には、事実上夫婦として生活しているが、婚姻届を提出していない者も含む。

3 「日常生活活動」とは、「歩く」「ベッドや床から起き上がる」「いすに座ったり立ち上がったりする」「衣服を着たり脱いだりする」「手や顔を洗う」「食事をする」「排せつ」「入浴をする」「階段の上り下り」「買い物したものの持ち運び」をいう。

4 「運動習慣」とは、「息がはずまない軽い運動」「多少息がはずむ運動」「激しく息がはずむ運動」の3種類について、運動の有無と平均的な実行頻度をたずねており、運動の種類、平均的な実行頻度にかかわらず、いずれかの運動が「あり」であれば、「運動習慣あり」としている。

5 「過去1か月に感じたことの状態」とは、6項目（「神経過敏に感じましたか」「絶望的だと感じましたか」「そわそわ、落ち着かなく感じましたか」「気分が沈み込んで、何が起ころうとも気が晴れないように感じましたか」「何をするのも骨折りだと感じましたか」「自分は価値のない人間だと感じましたか」）について、それぞれ、「いつも」を5点、「たいてい」を4点、「ときどき」を3点、「少しだけ」を2点、「まったくない」を1点として、一人当たりの合計点を算出している。

6 「仕事の状況」

(1) 「仕事をしている」とは、ふだん収入になる仕事をしていて、今後も仕事をしていくことになっている場合をいう。

(2) 「仕事をしていない」とは、パート・アルバイト、内職等も全くしていない場合をいう。

7 「同一就業継続」とは、勤め先が変わっていないこと、また、自ら行っている事業が変わっていないことをいう。

8 「仕事のかたち」

(1) 「自営業主」とは、個人経営の商店主・工場主・農業主等の事業主や開業医・弁護士・著述家・行商従事者等をいう。

なお、法人組織（株式・有限・合資・合名の各会社）になっている商店の経営者の場合は、「会社・団体等の役員」としている。

- (2) 「家族従業者」とは、農家や個人商店等で農作業や店の仕事等を手伝っている家族をいう。
- (3) 「会社・団体等の役員」とは、会社の社長・取締役・監査役、団体の理事（長）・監事、公団や事業団の総裁・理事等をいう。
なお、部長、課長等のいわゆる管理職の場合は、理事等の役員になっていなければ、含まれない。
- (4) 「正規の職員・従業員」とは、会社・団体・官公庁・個人商店等に雇用期間の定めなく雇われている人をいう。
- (5) 「パート・アルバイト」とは、就業時間や日数に関係なく、勤務先で「パートタイマー」「アルバイト」または、それらに近い呼称で呼ばれている人をいう。
- (6) 「労働者派遣事業所の派遣社員」とは、労働者派遣法に基づく労働者派遣事業所に雇用され、そこから派遣されている人をいう。
- (7) 「契約社員・嘱託」とは、専門的職種に従事させることを目的に契約に基づき雇用されている人や雇用期間の定めのある人、労働条件や契約期間に関係なく、勤務先で「嘱託職員」または、それに近い呼称で呼ばれている人をいう。
- (8) 「家庭での内職など」とは、家庭で賃仕事をしている人をいう。
- (9) 「その他」とは、(1)～(8)以外の人のことをいう。

9 「正規」及び「非正規」は、次の仕事のかたちをいう。

「正規」 … 正規の職員・従業員

「非正規」… アルバイト・パート、労働者派遣事業所の派遣社員、契約社員・嘱託、その他

10 「住居の状況」

(1) 「持ち家」とは、その世帯が所有する住宅をいう。

また、親名義の家に住んでいる場合や子名義の家に住んでいる場合も含む。

(2) 「社宅等」とは、勤務先の会社・官公庁や雇い主等が管理している住宅（独身寮を含む。）をいう。

11 「ふだんの活動」のうち、「無報酬の仕事」とは、民生委員、児童委員、保護司、PTA役員等、報酬のない仕事のことをいう。

12 「1か月間の収入額」とは、「働いて得た所得」「公的年金」「雇用保険」「その他の社会保障給付金」「私的年金」「仕送り」「資産収入」「その他」の合計の金額（税込み）であり、ボーナスや財産の売却代、預貯金を引き出した場合、生命保険・損害保険からの受取金などは含めない。

13 「仕事のための能力開発・自己啓発」とは、過去1年間の状況である。

14 「これまでの働き方」とは、第1回調査において、以下のいずれかを尋ねたものである。なお、学校を卒業（または中退）後、初めて就いた仕事から数え、学生時代のアルバイトは含めない。

(1) ひとつの企業・団体等におおむね20年以上勤務している（いた）

(2) 勤め先は変わったが、同じ分野の仕事におおむね20年以上従事している（いた）

(3) (1) や (2) に該当しないが、おおむね20年以上仕事（自営業を除く）に従事している（いた）

(4) 自営業でおおむね20年以上、仕事をしている（いた）

(5) 仕事を中断し、それ以来仕事をしていない

(6) (1) ～ (5) 以外の働き方をしている（いた）

(7) 収入を伴う仕事をしたことがない

15 「これまで20年以上仕事をしていた」は、14の(1)～(4)の合計である。

16 「しばらく仕事をしていない」は、14の(5)と(7)の合計である。

17 「1か月」「過去1か月」とは、第1回は平成17年10月、第2回は平成18年10月のことである。

18 「過去1年間」とは、第1回は平成16年11月～平成17年10月まで、第2回は平成17年11月～平成18年10月までのことである。